

VP1420/VP1421

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、VP1420/VP1421 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2025 年 10 月 16 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載されたすべての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告なく改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティーシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではありません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダーの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能をすべて発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛てに連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承りません。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社ウェブページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社ウェブページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛てに返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社ウェブサイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダーの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能をすべて発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
適合性に関する宣言.....	4
RoHS.....	5
安全にお使いいただくために.....	6
全般	6
ラックマウント	8
同梱品.....	9
VP1420	9
VP1421	9
VPK104.....	9
本マニュアルについて.....	10
マニュアル表記について.....	12
第1章 はじめに.....	13
概要.....	13
特長.....	14
VP1420	14
VP1421	16
セットアップの計画.....	18
システム要件	18
オプション品.....	18
第2章 セットアップ方法.....	20
製品各部名称	20
VP1420	20
VP1421	22
IR リモコン	25
VPK104.....	26
マウント方法.....	28
ラックマウント	28
アンダーデスクマウント	29

セットアップ方法.....	30
VP1420	30
VP1421	32
VPK104.....	35
第3章 ローカル操作	37
概要.....	37
操作上の注意点	37
ソースの切り替え.....	37
表示モード	38
表示モードとは	38
設定	38
オーディオ設定	39
フロントパネルのロック	40
電源 LED の表示	41
第4章 リモート操作.....	43
概要.....	43
ネットワークとログインのデフォルト設定.....	43
対応ウェブブラウザ.....	44
ウェブコンソールへのログイン	45
メイン画面.....	46
全般設定.....	47
オーディオ&ビデオ設定.....	50
オーディオ制御.....	50
ビデオ制御	53
システム設定.....	55
メンテナンス	55
ネットワーク設定.....	57
第5章 CLI コマンド	58
概要.....	58
Telnet 経由での接続	58
RS-232 経由での接続.....	59
コマンド構文	60
コマンド一覧	61
ポート番号	61
cec	61
displaymode.....	62

echo	62
edid	63
mute	63
read	64
reset	64
scaling	65
standby	65
sw	65
swmode	66
volume	67
audiomap	68
Telnet ログインコマンド	69
第 6 章 ビデオプレゼン制御アプリ	70
概要	70
対応システム	70
iOS 版	71
メイン画面	71
コントロールパネルへのログイン	73
会議からの退室	78
スタンバイモードの有効化	79
ファームウェアバージョンの確認	80
ビデオパネル	81
オーディオパネル	85
Android 版	92
メイン画面	92
コントロールパネルへのログイン	94
会議からの退室	101
スタンバイモードの有効化	102
ファームウェアバージョンの確認	103
ビデオパネル	104
オーディオパネル	109
付録	116
製品仕様	116
VP1420	116
VP1421	119

適合性に関する宣言

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のパート 15 に準拠したデジタル装置クラス A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供するためのものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

この機器は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告

この装置を居住地で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。



カナダ産業省による宣言

クラス A の本デジタル装置はカナダの ICES-003 に準拠しています。

CAN ICES-003 (A) / NMB-003 (A)

HDMI 商標に関する宣言

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

安全にお使いいただくために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品パッケージに同梱のすべてのドキュメントに目を通してください。また、ドキュメント類は、後で見返せるようにすべて保存してください。
- ◆ デバイスに記載されている警告や指示に従ってください。
- ◆ デバイスを不安定な面(カート、簡易スタンド、テーブルなど)に置かないでください。デバイスが落下すると、深刻な損傷が生じます。
- ◆ デバイスを水の近くで使用しないでください。
- ◆ デバイスを冷却装置や加熱機器の近く、またはその上に置かないでください。
- ◆ 排熱機構のないデバイスを、組み込みエンクロージャーに置かないでください。
- ◆ デバイスにいかなる種類の液体もこぼさないでください。
- ◆ 本体のお手入れの際には、デバイスのプラグを壁のコンセントから抜いてください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ デバイスは、マーキングラベルに示されたタイプの電源で動作させる必要があります。利用可能な電源の種類がご不明な場合は、販売店もしくは最寄りの電力会社にお問い合わせください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源の上限を把握しておき、これを超えないように注意してください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。
- ◆ システムへの損傷を避けるために、すべてのデバイスを適切に接地することが重要です。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。電源コードやケーブルを踏んだり、これらにつまずいたりしないよう、配線してください。
- ◆ 映像・ネットワーク・電源用のケーブルは、丁寧に取り扱いってください。ケーブルの上には何も置かないでください。
- ◆ 本体の端子に物を押し込まないでください。危険な電圧ポイントへの接触や、部品のショート、また、火災や電氣的な衝撃の危険性があります。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。保守については、適格な保守担当者にお問い合わせください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、デバイスのプラグを壁のコンセントから抜いて、技術サポートに

修理を依頼してください。

- 電源コードやプラグが損傷したり擦り切れたりしている。
 - デバイ스에 液体がこぼれた。
 - デバイスが雨や水に濡れた。
 - デバイスが落下した、またはキャビネットが破損している。
 - デバイスの動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、必ず製品マニュアルに従って操作してください。マニュアルに記載されていない方法で調整を行うと、修理資格のある技術者による広範な作業を必要とするおそれがあります。
 - ◆ 「UPGRADE」と書かれた RJ-11 コネクターを公衆通信網に接続しないでください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を行う前に、スタビライザーがラックと床に固定されていることと、ラックの重心が安定していることを確認してください。
- ◆ ラックへの機器搭載は、必ず下から上に向かって行ってください。また、最も重いアイテムを下から搭載してください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する電源が過負荷にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は最大でも80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックからの排熱やラックへの通気が十分に行えるようにしてください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度の範囲内で使用できるように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

同梱品がすべて揃い、正常に動作することを確認してください。不足や不具合がある場合は、販売店までお問い合わせください。

VP1420

- ◆ VP1420 本体 ×1
- ◆ VPK104 ×1
- ◆ IR レシーバー ×1
- ◆ IR リモコン ×1
- ◆ 3 極ターミナルブロック ×2
- ◆ 5 極ターミナルブロック ×2
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ クイックスタートガイド ×1

VP1421

- ◆ VP1421 本体 ×1
- ◆ VPK104 ×1
- ◆ IR レシーバー ×1
- ◆ IR リモコン ×1
- ◆ 3 極ターミナルブロック ×4
- ◆ 5 極ターミナルブロック ×2
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ クイックスタートガイド ×1

VPK104

- ◆ VPK104 本体 ×1
- ◆ 4 極着脱式ターミナルブロック ×4
- ◆ クイックスタートガイド ×1

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャーおよび同梱のリモートパッドについて説明したものです。本マニュアルでは、次の製品の取り付け・セットアップ方法、操作方法について説明します。

デバイスの種類	型番	説明
プレゼンマトリックス スイッチャー	VP1420	4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャー (4K60p 対応)
	VP1421	4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャー (4K60p、スケーリング、DSP、HDBaseT-Lite 対応)
リモートパッド	VPK104	4 ボタン接点リモートパッド

第1章 はじめに:VP1420/VP1421 を紹介します。特長、機能概要、およびセットアップ計画時に注意すべき点について説明します。

第2章 セットアップ方法:VP1420/VP1421 および付属の IR リモコンの製品各部名称と、製品本体を安全かつ手早くセットアップする方法について説明します。

第3章 ローカル操作:システム設定の操作やアクセスを、製品本体のプッシュボタンや IR リモコンを使ってローカル側から行う方法について説明します。

第4章 リモート操作:リモート管理や管理タスクをウェブインターフェース経由で行う方法について詳しく説明します。

第5章 CLI コマンド:シリアルコントローラーを使って VP1420/VP1421 を制御する際に使用できる機能および RS-232 コマンドについて詳しく説明します。

第6章 ビデオプレゼン制御アプリ:ATEN ビデオプレゼン制御アプリを使ってシステム設定をリモートから行う方法について詳しく説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

-
- 注意:**
- ◆ 製品本体や接続機器が破損しないように、必ず、本マニュアルの内容に従ってセットアップや操作を行ってください。
 - ◆ 本マニュアルの発行後に、製品の機能や特長が追加・改良・削除される場合があります。最新のユーザーマニュアルは <http://www.aten.com/global/en/> でご確認ください。
-

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は、[Enter]キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

VP1420 / VP1421 は、多機能プレゼンスイッチャーです。

ビデオマトリックス切替、4K アップスケーリング、HDBaseT 延長出力に対応します。

4 系統のアナログ／デジタル入力から信号を選択できます。

選択した映像は、2 系統の 4K アップ出力と HDBaseT 出力に送信できます。

HDMI は最大 60m まで延長可能です。

会議室やプレゼン環境の操作を簡素化し、運用効率を高めます。

安定した映像表示により、印象的なプレゼンを実現します。

操作方法

本機は複数の方法で操作できます。

- フロントパネルのボタン
- IR リモコン
- RS-232
- Web GUI (イーサネット経由)
- 専用リモートアプリ

用途に応じて操作方法を選択できます。

主な利用シーン

映像機器の台数を抑えたい、小規模の映像システム構成に適しています。

会議室、ミーティングルーム、教室、視聴覚室などに最適です。

展示会やホテルなど、映像演出が必要な環境にも活用できます。

特長

VP1420

アナログ/デジタル AV をマトリックス切替

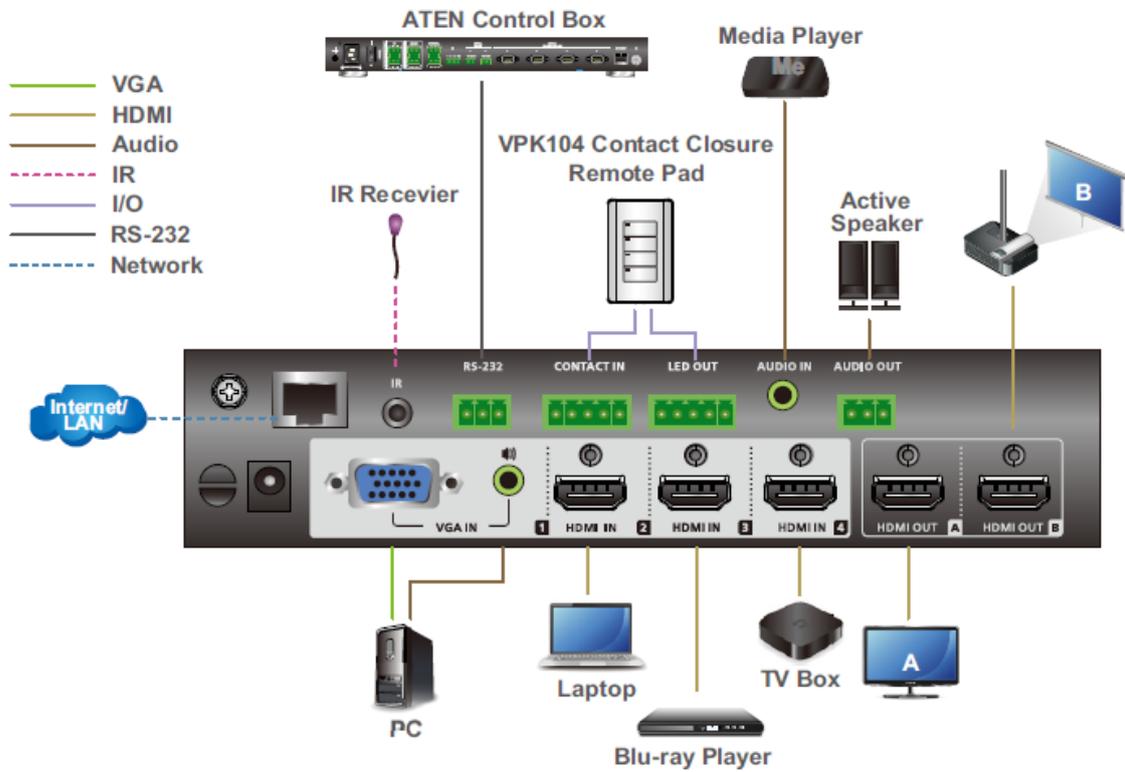
- ◆ 4 系統の映像入力に対応 - 3 系統の HDMI 入力と 1 系統の VGA 入力
- ◆ 2 系統の HDMI 出力
- ◆ オーディオ・エンベデッド機能 - ステレオオーディオは、HDMI 出力へのエンベデッドやステレオライン出力への分離が可能
- ◆ オーディオ・ディエンベデッド機能 - HDMI オーディオからアナログのライン出力へステレオで抽出が可能
- ◆ 自動切替機能 - 新しいソースが接続されると自動的に認識し切り替えを実行

HD ビデオを最適に出力

- ◆ 最大解像度 4K60p - HDMI: 4096 × 2160@60Hz (4:4:4)
- ◆ 4K HDR 対応
- ◆ スケーラー機能 - アップスケールされたビデオ (最大 4K) はディスプレイ A に、ダウンスケールされたビデオ (最大 1080p) はディスプレイ B にそれぞれ表示
- ◆ EDID エキスパート - 接続されたディスプレイの EDID 情報を取得・調整をおこない、異なる解像度・仕様のモニター環境でも安定した起動と適切な映像表示を実現します。
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K)、HDCP 2.2 準拠

多様で無駄のない操作性

- ◆ 複数の操作オプションを提供 - フロントパネルのプッシュボタン、IR リモコン、RS-232、インターネット経由でのウェブ GUI 操作
- ◆ ビデオマトリックススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ スタンバイモード対応により省電力と高速起動を実現
- ◆ CEC 対応
- ◆ VPK104 (4 ボタン接点リモートパッド) を併用してボタンによるリモート制御が可能



VP1421

アナログ/デジタル AV をマトリックス切替

- ◆ 4 系統の映像入力に対応 - 2 系統の HDMI 入力、1 系統の HDBaseT 入力、および 1 系統の VGA 入力
- ◆ 1 系統の HDMI 出力と 1 系統の HDBaseT 出力
- ◆ オーディオ・エンベデッド機能 - ステレオオーディオは、ディスプレイ出力へのエンベデッドまたはステレオおよび光オーディオ出力への分離が可能
- ◆ オーディオ・ディエンベデッド機能 - HDMI/HDBaseT オーディオからアナログのライン出力へステレオで抽出が可能
- ◆ オーディオ DSP 搭載 - 選択可能な 48V ファンタム電源のマイク入力に対応。また、マイク入力をプログラムオーディオとミキシングし、ディスプレイ出力にエンベデッド可能
- ◆ マイク信号の検出時にはプログラムオーディオを自動的にボリュームダウン
- ◆ 自動切替機能 - 新しいソースが接続されると自動的に認識し切り替えを実行

HD ビデオを最適に出力

- ◆ 最大解像度 4K60p - HDMI: 4096 × 2160@60Hz (4:4:4) / HDBaseT: 4096 × 2160@60Hz (4:2:0)
- ◆ 4K HDR 対応
- ◆ スケーラー機能 - アップスケールされたビデオ (最大 4K) はディスプレイ A に、ダウンスケールされたビデオ (最大 1080p) はディスプレイ B にそれぞれ表示
- ◆ EDID エキスパート (エミュレーション機能) - 最適な EDID 選択を行いスムーズな起動と高品質なビデオ映像を実現し、異なるディスプレイ間でも最適な解像度で表示可能
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K)、HDCP 2.2 準拠

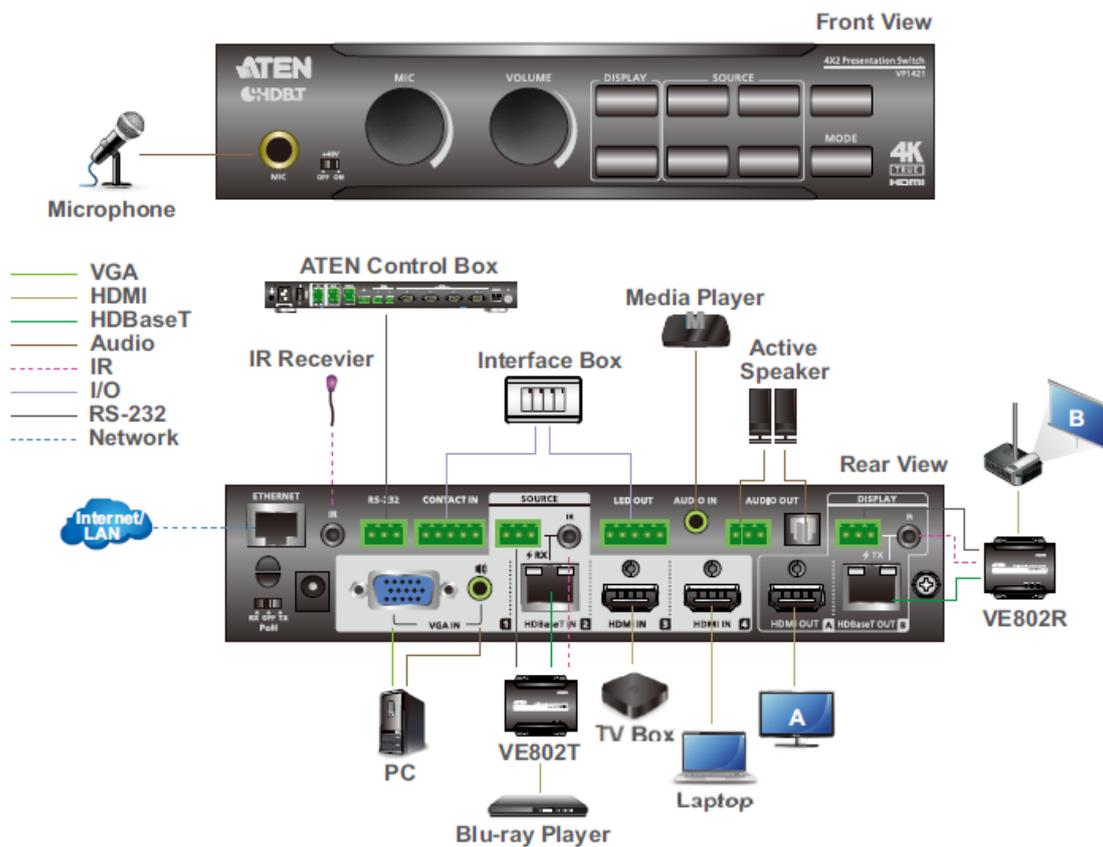
多様で無駄のない操作性

- ◆ 複数の操作オプションを提供 - フロントパネルのプッシュボタン、IR リモコン、RS-232、インターネット経由でのウェブ GUI 操作
- ◆ ビデオマトリックススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ 双方向 RS-232 および IR チャネル - 追加ケーブルなしで HDBaseT 接続を介して A/V 機器を制御
- ◆ スタンバイモード対応により省電力と高速起動を実現
- ◆ CEC 対応
- ◆ VPK104 (4 ボタン接点リモートパッド) を併用してボタンによるリモート制御が可能

ケーブル 1 本による信号延長

- ◆ 長距離伝送 - デジタル A/V 信号、双方向 RS-232 および IR 制御信号を、Cat 6/6a ケーブルまたは ATEN 製 Cat 6 ケーブル 2L-2910 を使って最大 140m^{*1} 延長
- ◆ Power over HDBaseT (PoH) 対応 - 既存の通信ケーブルを介して、選択可能な給電デバイスで長距離給電が可能

- 注意:**
1. 製品本体の HDBaseT 入力と HDBaseT 出力の各ポートを使用した場合に対応可能。このとき、入力機器～VP1421 および VP1421～出力機器への各距離は、それぞれ最大 70m となります。
 2. 互換性のあるケーブルについては、製品ページの「互換ケーブル」セクションを参照してください。



セットアップの計画

システム要件

VP1420 / VP1421 を設置する前に、必要な機器をご用意ください。

VP1420

- ◆ 【入力機器】
 - HDMI 機器:最大 3 台
 - VGA 機器:最大 1 台
- ◆ 【出力機器】
 - HDMI ディスプレイ:最大 2 台

VP1421

- ◆ 【入力機器】
 - HDMI 機器:最大 3 台
 - VGA 機器:最大 1 台
- ◆ 【出力機器】
 - HDMI ディスプレイ:最大 2 台

オプション品

必要に応じて、下記のハードウェアをご用意ください。

VP1420

- ◆ メディアプレイヤー :1 台
- ◆ アクティブスピーカー :1 台
- ◆ イーサネットケーブル 1 本 (web 管理用。設定用 PC と接続)
- ◆ RS-232 / Telnet に対応した PC またはコントロールシステム :1 台
- ◆ ATEN 4 ボタン接点リモートパッド VPK104 : 1 台
- ◆ マウント用キット
 - ラックマウントキット
 - アンダーデスクマウントキット

VP1421

◆ 音声関連

- マイク : 1 台
- アクティブスピーカー 1 台

◆ 映像関連

- メディアプレイヤー : 1 台
- HDBaseT 対応トランスミッター:1 台
- HDBaseT 対応レシーバー:1 台

◆ 管理・制御用

- イーサネットケーブル 1 本 (web 管理用。設定用 PC と接続)
- RS-232 / Telnet に対応した PC またはコントロールシステム : 1 台
- ATEN 4 ボタン接点リモートパッド VPK104 : 1 台

◆ ATEN VPK104(4 ボタン接点リモートパッド) 1 台

- マウント用キット
- ラックマウントキット
- アンダーデスクマウントキット

第2章

セットアップ方法

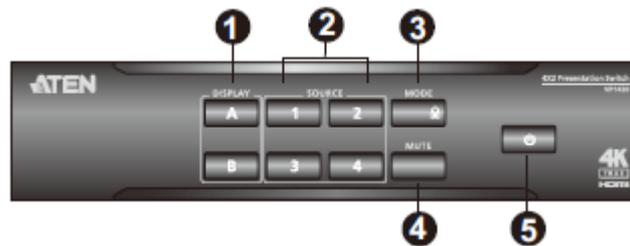


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 必要なハードウェアがすべて正しく接続されていることを確認してから、VP1420/VP1421 の製品本体に電源を入れるようにしてください。

製品各部名称

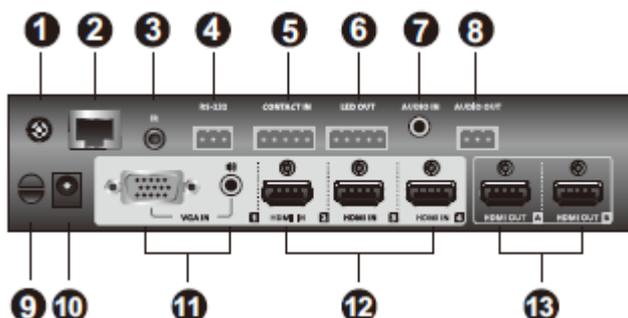
VP1420

フロントパネル



No.	名称	説明
1	表示選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。選択されているディスプレイのボタンはオレンジに点灯します。
2	ソース選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、選択されたディスプレイに対してソースを指定します。選択されているソースのボタンはグリーンに点灯します。
3	モード プッシュボタン	◆ 1回押すと、現在のモード設定を表示します。 ◆ 2回押すと、マトリックスモードとミラーモードを切り替えます。
4	ミュート プッシュボタン	このボタンを押すと、すべてのディスプレイとスピーカーをミュート(消音状態)にします。
5	電源 プッシュボタン	VP1420 の電源オン・オフ、またはスタンバイモードの有効・無効を切り替えます。詳細は p.41「電源 LED の表示」を参照してください。

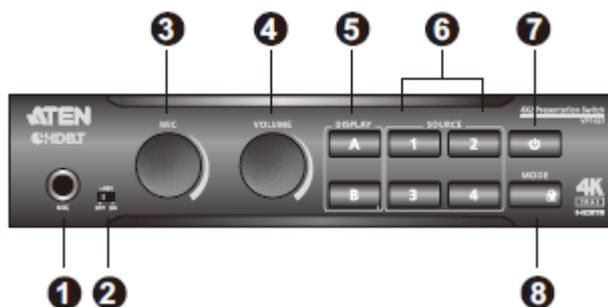
リアパネル



No.	名称	説明
1	グラウンドターミナル	電圧変化や静電気による機器の破損を防ぐために、このポートを使って製品本体を接地します。
2	イーサネットポート	ウェブコンソール経由でリモート操作を行えるよう、イーサネットケーブルを使ってネットワークスイッチに接続します。
3	IR レシーバーポート	IR レシーバーに接続し、IR リモコンからの IR 信号を受信します。
4	RS-232 シリアルポート	コントロールシステムまたは PC などと接続して、シリアル通信で制御ができます。
5	接点入力	リレー接点です。VPK104 やコントロールシステムなどの接点インターフェイスや出力ターミナルに接続します。
6	LED 出力	接点の操作 LED 出力ポートです。VPK104 の表示用やコントロールシステムに接続します。
7	オーディオ入力ポート	オーディオソースから出力された信号を受信します。
8	オーディオ出力ポート	アクティブスピーカーに接続します。
9	ケーブルタイスロット	結束バンドで電源アダプターを固定するために確保されています。
10	電源ジャック	VP1420 に電源アダプターを接続します。
11	ソース 1	VGA ソースとステレオオーディオソースを各 1 台接続します。
12	ソース 2、3、4	HDMI ケーブルで HDMI ソースデバイスを接続します。
13	HDMI 出力	HDMI ポートを搭載したディスプレイを接続します。

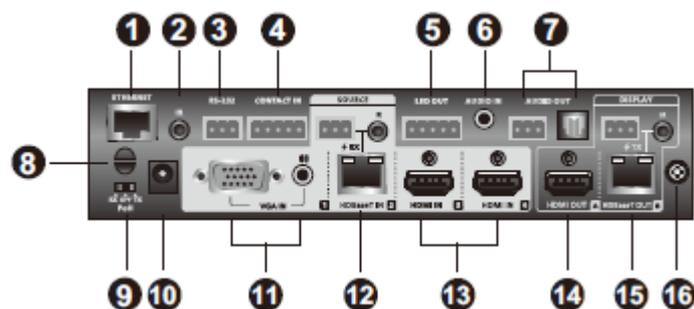
VP1421

フロントパネル



No.	名称	説明
1	マイク入力ポート	マイクを接続します。
2	ファンタム電源 スイッチ	コンデンサーマイクへのファンタム電源の供給を、有効または無効にします。
3	マイクボリューム 調節	ツマミを使ってマイクのボリュームを調節します。
4	全体ボリューム 調節	ツマミを使ってオーディオ出力すべてのボリュームを調節します。
5	表示選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。選択されているディスプレイのボタンはオレンジに点灯します。
6	ソース選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、選択されたディスプレイに対してソースを指定します。選択されているソースのボタンはグリーンに点灯します。
7	電源 プッシュボタン	VP1421の電源オン・オフ、またはスタンバイモードの有効・無効を切り替えます。詳細は p.41「電源 LED の表示」を参照してください。
8	モード プッシュボタン	◆ 1回押すと、現在のモード設定を表示します。 ◆ 2回押すと、マトリックスモードとミラーモードを切り替えます。

リアパネル



No.	名称	説明
1	イーサネットポート	ウェブコンソール経由でリモート操作を行えるよう、イーサネットケーブルを使ってネットワークスイッチに接続します。
2	IR レシーバーポート	IR レシーバーに接続し、IR リモコンからの IR 信号を受信します。
3	RS-232 シリアルポート	コントロールシステムまたは PC などと接続して、シリアル通信で制御ができます。
4	接点入力	リレー接点です。VPK104 やコントロールシステムなどの接点インターフェイスや出力ターミナルに接続します。
5	LED 出力	接点の操作 LED 出力ポートです。VPK104 の表示用やコントロールシステムに接続します。
6	オーディオ入力ポート	オーディオソースから出力された信号を受信します。
7	オーディオ出力ポート	アクティブスピーカーに接続します。
8	ケーブルタイスロット	結束バンドで電源アダプターを固定するために確保されています。
9	PoH 制御スイッチ	VP1421 に接続された HDBaseT トランスミッターまたはレシーバーに対して、ケーブル経由で PoH 給電をするか選択できます。
10	電源ジャック	VP1421 に電源アダプターを接続します。
11	ソース 1	VGA ソースとステレオオーディオソースを各 1 台接続します。
12	ソース 2	HDBaseT ポートを搭載したトランスミッター経由で、離れた場所にあるソースデバイスへと接続します。
13	ソース 3、4	HDMI ケーブルで HDMI ソースデバイスを接続します。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
14	出力/ディスプレイ A	HDMI ポートを搭載したディスプレイを接続します。
15	出力/ディスプレイ B	離れた場所にあるディスプレイに接続されたレシーバーへと接続します。
16	グラントーミナル	電圧変化や静電気による機器の破損を防ぐために、このポートを使って製品本体を接地します。

IRリモコン

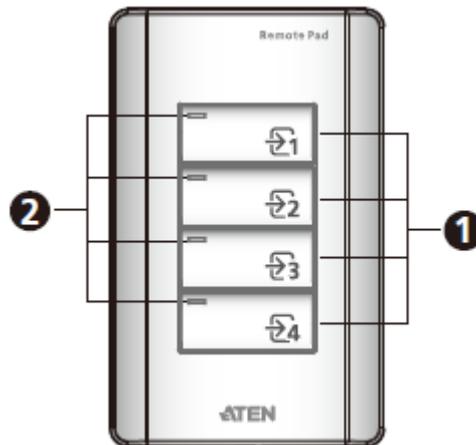
VP1420/VP1421 を IRリモコンで操作するには、製品パッケージに同梱されている IR レシーバーを、製品本体のリアパネルにある IR レシーバーポートに接続してからご利用ください。



No.	名称	説明
1	オン・オフボタン	VP1420/VP1421 の電源オン・オフ(スタンバイモードの有効・無効)を切り替えます。詳細は p.41「電源 LED の表示」を参照してください。
2	ソースボタン	このボタンを押すと、接続されたディスプレイに対して映像ソースを選択します。
3	表示ボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。
4	ミュートボタン	このボタンを押すと、すべてのディスプレイとスピーカーをミュート(消音状態)にします。
5	モードボタン	◆ 1 回押すと、現在のモード設定を表示します。 ◆ 2 回押すと、マトリクスモードとミラーモードを切り替えます。

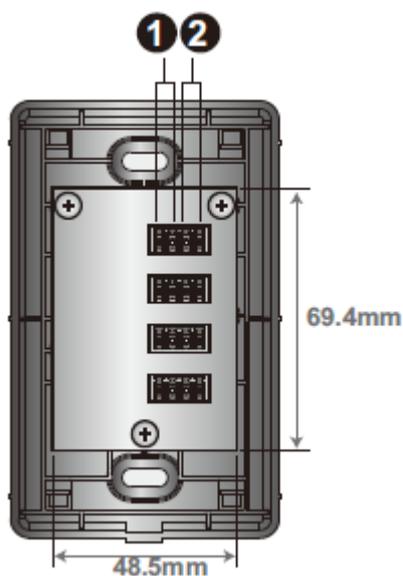
VPK104

フロントパネル



No.	名称	説明
1	ソース選択ボタン	ボタンを押すと、VP1420/VP1421 の映像ソースを指定した出力に切り替えて表示します。各ボタンの番号は、VP1420/VP1421 本体のリアパネルにおけるソース番号を表しています。 注意: ※表示するディスプレイはVP1420/VP1421 のウェブ GUIを使って選択する必要があります。
2	状態 LED	ソースが選択されているとグリーンに点灯します。

リアパネル



No.	名称	説明
1	LED 入力ポート	各ボタンの LED を操作に合わせて点灯/消灯させるためのポートです。VP1420/VP1421 の LED 出力ポートに接続します。
2	接点出力ポート	ボタン操作を送信するためのポートです。VP1420/VP1421 の接点出力ポートに接続します。

サイドパネル



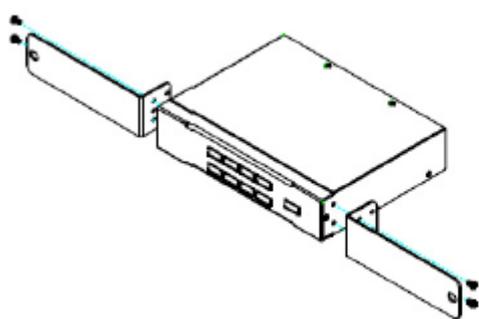
マウント方法

ラックマウント

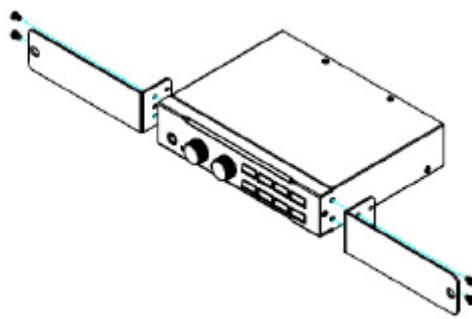
VP1420/VP1421 は 19 インチラックに 1U サイズでマウントできる製品です。ローカル側からフロントパネルのボタンを使って設定や操作が簡単に行えるよう、製品本体のフロント側がラックのフロント側にくるように取り付けてください。

注意: ラックマウントキット「2X-049G」は別途ご購入いただく必要があります。詳細は、弊社ウェブサイトにおける VP1420/VP1421 製品ページをご確認ください。

1. マウントキットに付属している M3 プラスネジを使って、ラックマウント用ブラケットを製品本体のフロント側の側面に取り付けてください。



VP1420



VP1421

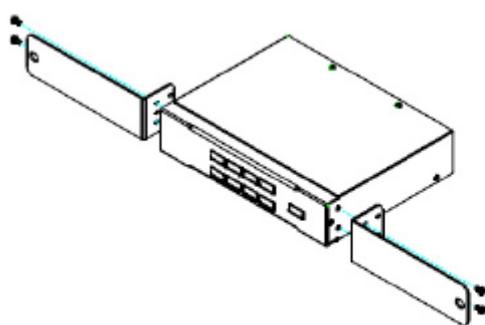
2. ブラケットを取り付けた製品を、ラックのフロント側に移動させ、ブラケットのねじ穴がラックのねじ穴に合うように位置を調節してください。
3. ラック取り付け用ビスとケージナット (同梱品外のため、別途ご用意ください) を使って、ブラケットをラックに固定してください。

アンダーデスクマウント

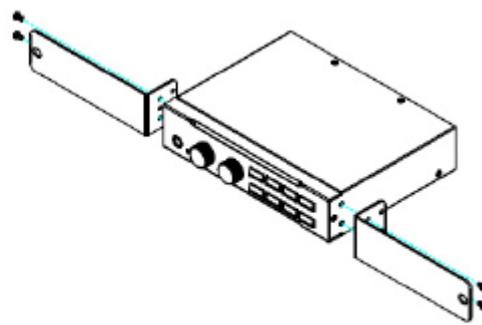
VP1420/VP1421 は、テーブルの下に取り付けることもできます。ローカル側から製品本体のフロントパネルのボタンを使って設定や操作が簡単に行えるよう、位置を決めてから取り付けてください。

注意： 本体の取り付けに必要となるラックマウントキットは、製品パッケージに同梱されていません。詳細は、弊社ウェブサイトにおける VP1420/VP1421 製品ページをご確認ください。

1. マウントキットに付属している M3 プラスネジを使って、ラックマウント用ブラケットを製品本体のフロント側の側面に取り付けてください。



VP1420



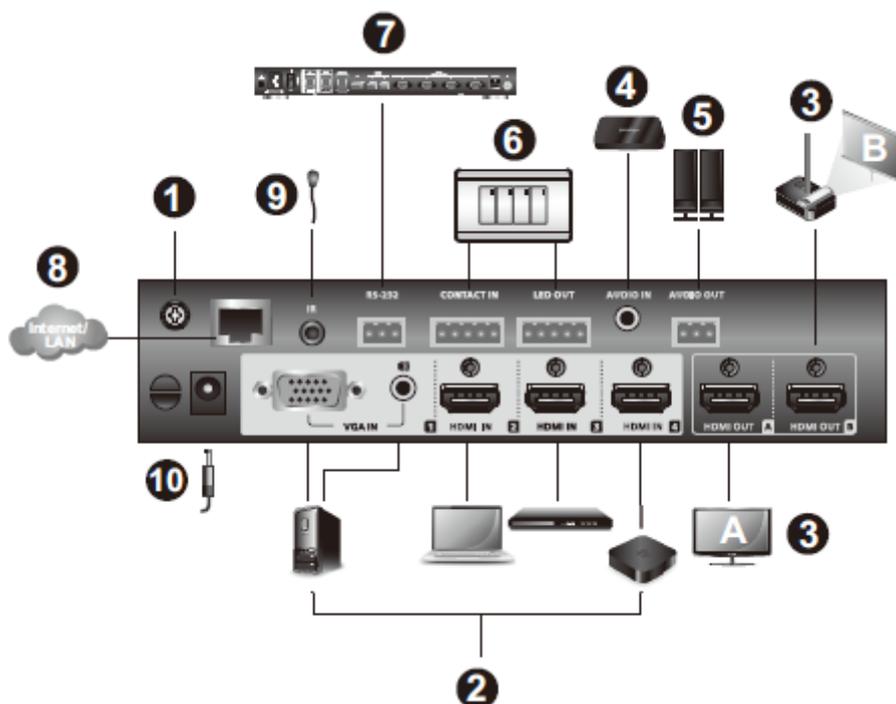
VP1421

2. テーブルの下で、本体フロントパネルが操作しやすくなるように位置を決めたら、この場所にマウント用ブラケットをネジ止めして製品本体を取り付けてください。

セットアップ方法

VP1420

下記の手順に従って、映像ソース、ディスプレイ、または、その他のデバイスを、安全な方法でVP1420 に接続し、セットアップ作業を行ってください。



1. 接地線の片方の端を接地ターミナルに、もう片方の端を適切な接地物にそれぞれ接続して、製品本体の接地を行ってください。

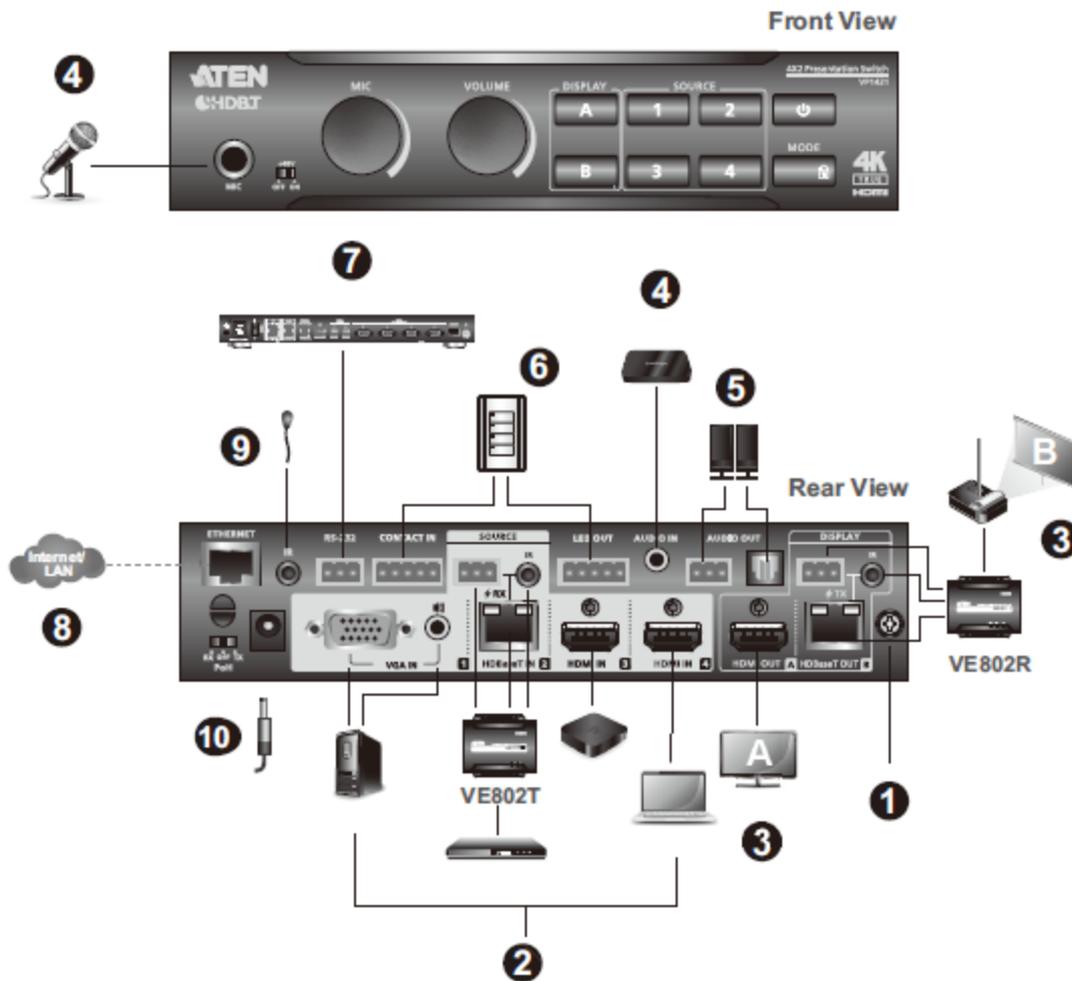
注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. 映像ソースを VP1420 に接続してください。
 - ◆ VGA ソースは、VGA ケーブルを使って、VP1420 の VGA 入力ポートに接続してください。また、オーディオソースも同様に、ステレオオーディオケーブルを使って、VP1420 のステレオオーディオ入力ポートに接続してください。
 - ◆ HDMI ソースは、HDMI ケーブルを使って、VP1420 の HDMI 入力ポートに接続してください。HDMI ソースは最大 3 台まで接続することができます。

3. 製品本体に HDMI ディスプレイ(1 台以上)を接続してください。
4. (オプション)オーディオソースデバイス(メディアプレイヤーなど)を、VP1420 のオーディオ入力ポートに接続してください。
5. (オプション)製品パッケージに同梱されている3極ターミナルブロックを使って、アクティブスピーカーを VP1420 のオーディオ出力ポートに接続してください。
6. (オプション)接点閉鎖スイッチを使って VP1420 を制御する場合は、製品パッケージに同梱されている5極ターミナルブロックを使って、このスイッチを VP1420 の接点入力ポートと LED 出力ポートに接続してください。
7. (オプション)RS-232 シリアルコマンドを使って製品本体の設定を変更する場合は、製品パッケージに同梱されている3極ターミナルブロックを使って、製品本体の RS-232 シリアルポートに、ハードウェアコントローラー(ATEN コントロールボックスなど)またはソフトウェアコントローラーを接続してください。
8. (オプション)ウェブインターフェースにアクセスする場合は、製品本体にあるイーサネットポートをイーサネットケーブルでネットワークスイッチに接続してください。
9. (オプション)製品本体を IR リモコンから操作する場合は、製品パッケージに同梱されている IR レシーバーを VP1420 の IR レシーバーポートに接続してください。
10. 電源アダプターを VP1420 の電源ジャックに接続してください。また、電源アダプターのケーブル部分を固定したい場合は、結束バンドでケーブルタイスロットに固定することもできます(オプション)。
11. 電源プッシュボタンで製品本体の電源をオンにしてください。
12. 接続デバイスの電源をすべてオンにしてください。

VP1421

下記の手順に従って、ソースデバイス、ディスプレイ、または、その他のデバイスを、安全な方法でVP1421に接続し、セットアップ作業を行ってください。



1. 接地線の片方の端を接地ターミナルに、もう片方の端を適切な接地物にそれぞれ接続して、製品本体の接地を行ってください。

注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. ビデオソースをVP1421に接続してください。
 - ◆ VGAソースは、VGAケーブルとステレオオーディオケーブルを使って、VP1421のソース1ポートに接続してください。

- ◆ 接続するビデオソースの信号を延長する必要がある場合には、VP1421 の HDBaseT 入力ポートとトランスミッターデバイスの HDBaseT 出力ポートを、イーサネットケーブルで接続してください。

注意: 対応ビデオエクステンダーは、弊社ウェブサイトにおける VP1421 製品ページにてご確認ください。

- ◆ HDMI ソースは、HDMI ケーブルを使って、VP1421 の HDMI 入力ポートに接続してください。HDMI ソースは最大 2 台まで接続することができます。

注意: VP1421 は双方向 RS-232 と IR パススルーに対応しています。

3. 製品本体にディスプレイを接続してください。

- ◆ ディスプレイを延長する必要がない場合は、HDMI ケーブルを使って、HDMI ディスプレイを VP1421 に直接つないでください。

- ◆ ディスプレイを離れた場所にセットアップする場合は、VP1421 の HDBaseT 出力ポートと、VP1421 に対応したレシーバーの HDBaseT 入力ポートを、イーサネットケーブルで接続してください。ディスプレイはこのレシーバーに接続します。

注意: 接続されたビデオトランスミッターに対して VP1421 の Rx ターミナル経由で給電する場合は、PoH 制御スイッチを逆に **Rx** へと接続してください。

4. (オプション) オーディオを個別に提供したい場合は、オーディオソースデバイス(メディアプレイヤーなど)やマイクを、VP1421 のオーディオ入力ポートに接続してください。コンデンサーマイクを使用する場合は、ファンタム電源スイッチを**オン**にしてください。

5. (オプション) アクティブスピーカーを VP1421 のオーディオ出力ポートに接続してください。

6. (オプション) 接点閉鎖スイッチを使って VP1421 を制御する場合は、製品パッケージに同梱されている 5 極ターミナルブロックを使って、このスイッチを製品本体の接点入力ポートと LED 出力ポートに接続してください。

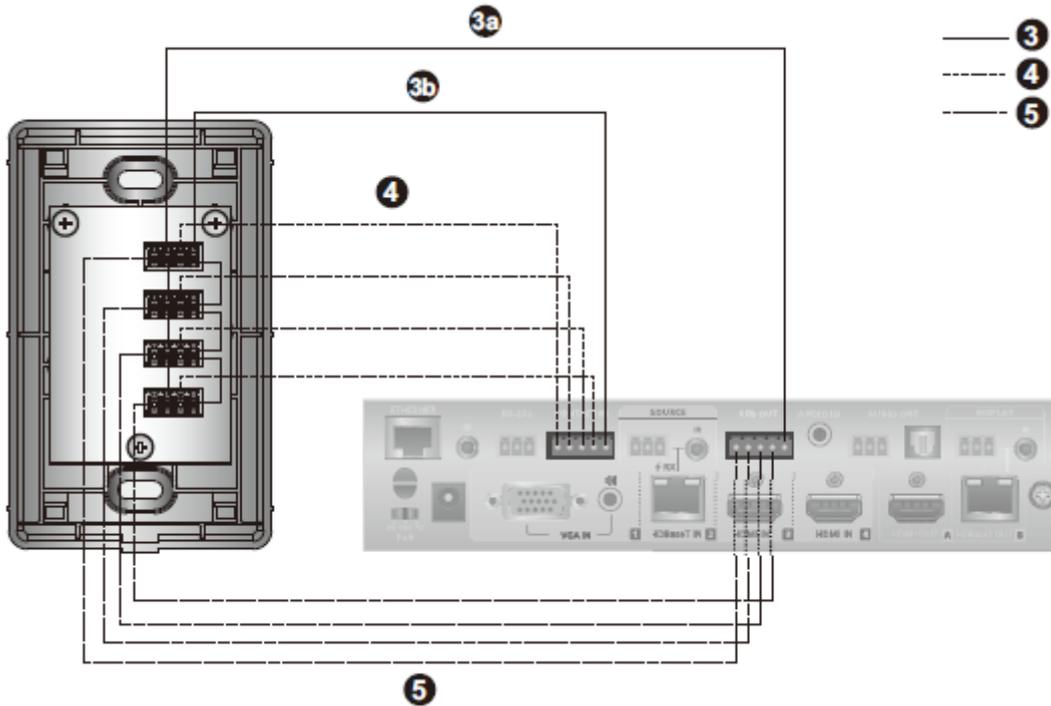
7. (オプション) RS-232 シリアルコマンドを使って製品本体の設定を変更する場合は、製品パッケージに同梱されている 3 極ターミナルブロックを使って、製品本体の RS-232 シリアルポートに、ハードウェアコントローラー (ATEN コントロールボックスなど) またはソフトウェアコントローラーを接続してください。

8. (オプション) ウェブインターフェースにアクセスする場合は、製品本体にあるイーサネットポートをイーサネットケーブルでネットワークスイッチに接続してください。

9. (オプション)製品本体をIRリモコンから操作する場合は、製品パッケージに同梱されているIRレシーバーをVP1421のIRレシーバーポートに接続してください。
10. 電源アダプターをVP1421の電源ジャックに接続してください。また、電源アダプターのケーブル部分を固定したい場合は、結束バンドでケーブルタイスロットに固定することもできます(オプション)。
11. 電源プッシュボタンで製品本体の電源をオンにしてください。
12. 接続デバイスの電源をすべてオンにしてください。

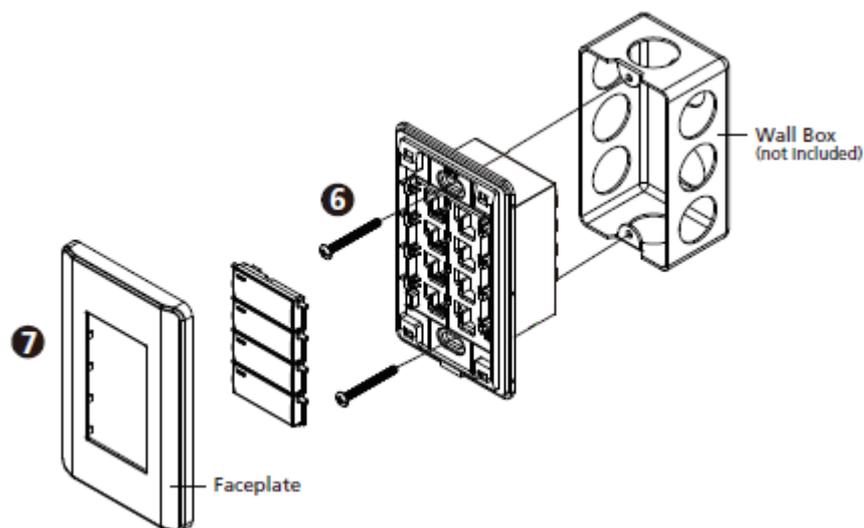
VPK104

下記の手順に従って、リモートパッド VPK104 を、安全な方法で VP1420/VP1421 に接続してください。なお、セットアップ作業を行うにあたり、ネジを2本、電源ボックスを1個、心線を数本、別途ご用意ください。



1. (オプション)設置場所を準備してください。
 - a) パネルマウントのカットアウト図(英語マニュアル参照)を参照して、リモートパッドと接続ケーブルを収容するための開口部を切り取ってください。
 - b) 設置場所に壁掛けボックスを取り付けてください(壁掛けボックスはパッケージに含まれていませんので、別途ご用意ください)。
2. リモートパッドからフェースプレートを取り外してください。
3. リモートパッドを接地してください。
 - a) 心線を使って、リモートパッドのLED入力(-)極とプレゼンススイッチャーのLED出力ターミナルにあるGND極を、直列に接続してください。
 - b) 心線を使って、リモートパッドの接点出力(-)極とプレゼンススイッチャーの接点入力ターミナルにあるGND極を、直列に接続してください。

- 心線を使って、リモートパッドの LED 入力ポート 1(+)とプレゼンススイッチャーの LED 出力極 1 を接続してください。その他の LED 入力ポートに対しても、この手順を繰り返してください。
- 心線を使って、リモートパッドの接点出力ポート 1(+)とプレゼンススイッチャーの接点入力極 1 を接続してください。その他の接点出力ポートに対しても、この手順を繰り返してください。
- VPK104 にキーが取り付けられていることを確認したら、VPK104 の本体を 2 本のネジで電源ボックスに取り付けてください。
- VPK104 にフェースプレートを取り付けてください。



第3章

ローカル操作

概要

本章では、VP1420/VP1421 をフロントパネルのボタンや IRリモコンを使って操作する方法について、詳しく説明します。

注意: 本マニュアルでは、フロントパネルにあるものを「プッシュボタン」、IR リモコンにあるものを「ボタン」と、それぞれ表記します。

操作上の注意点

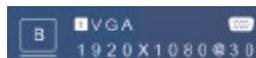
- ◆ IR リモコンを使う場合は、(製品パッケージに同梱されている) IR レシーバーが VP1420/VP1421 に接続されていることを確認してください。
- ◆ IR リモコンでスムーズに操作が行えるよう、IR リモコンは、有効範囲(製品本体から 6m 以内)から操作してください。また、リモコンと IR レシーバーの間に遮るものがないことを確認してください。

ソースの切り替え

ディスプレイに表示されるビデオソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 「**Display Selection**」(表示選択)プッシュボタン/ボタンを使って、ディスプレイを選択してください。選択されたディスプレイに対応したボタンがオレンジに点灯します。
2. 「**Source Selection**」(ソース選択)プッシュボタン/ボタンを使って、ソースを割り当ててください。選択されたソースに対応したボタンがオレンジに点灯します。

注意: ソースが切り替わると、OSDの左上に約5秒間、次のようなマークが表示されます。



これは、スケーリングされていないオリジナルのソースの解像度を表しています。

表示モード

表示モードとは

VP1420/VP1421 は、次の表示モードに対応しています。

- ◆ マトリックスモード():このモードが有効になっていると、A/V ソースを個別に設定したり、別々の出力を表示したりすることができます。
- ◆ ミラーモード():このモードが有効になっていると、ディスプレイBにはディスプレイAに割り当てられている A/V ソースが使用され、同一コンテンツが表示されます。

設定

以下は、iPad の映像を VP1420 に接続した時のイメージ図です。

現在の表示モードを表示するには、「Mode」(モード)プッシュボタン/ボタンを1回押してください。そうすると、ディスプレイAの左下に、現在の設定が表示されます。表示モードを変更する場合は、もう一度、「Mode」(モード)プッシュボタン/ボタンを押してください。



オーディオ設定

- ◆ VP1421 におけるすべてのオーディオ出力のボリュームを調整する場合は、本体フロントパネルにある「**Volume**」(ボリューム)ツマミ、または、IR リモコンにある「**Volume Up**」(ボリューム UP)や「**Volume Down**」(ボリューム DOWN)の各ボタンを使ってください。
- ◆ VP1421 におけるマイクまたは個別のオーディオソースのボリュームを調整する場合は、本体フロントパネルにある「**MIC**」(マイク)ツマミを使ってください。
- ◆ オーディオ出力(ディスプレイおよびスピーカー)をすべてミュート(消音)にする場合は、次の操作を行ってください。
 - VP1420 では、「**Mute**」(ミュート)プッシュボタン/ボタンを押してください。
 - VP1421 では、本体フロントパネルにある「**Volume**」(ボリューム)ツマミ、または IR リモコンにある「**Mute**」(ミュート)ボタンを押してください。

フロントパネルのロック

フロントパネルから誤ってシステム設定を変更されるのを防ぐために、「Mode」(モード)プッシュボタンを使ってパネルをロックしたり、ウェブコンソール(「General」(全般) > 「Panel Auto Lock」(パネルの自動ロック))を使って自動ロックが起動するまでの時間を設定できます。パネルロックを有効/無効にする操作、および、各操作時におけるLED表示については、下表を参照してください。

操作	ロック LED  (モードプッシュボタン)
「Mode」(モード)プッシュボタンを3秒間押し続けて、フロントパネルをロックする。	レッドに点灯
「Mode」(モード)プッシュボタンを再度3秒間押し続けて、フロントパネルのロックを解除する。	消灯
パネルのロック時にフロントパネルのプッシュボタンやツマミを使って調整を行う。	3回点滅

注意: 「Mode」(モード)プッシュボタンを使ってパネルをロックした場合は、ロックを解除する場合も、必ず「Mode」(モード)プッシュボタンを使うようにしてください。ウェブコンソールからパネルロックを無効にしても、ロックを解除することができません。

電源 LED の表示

電源プッシュボタンには、VP1420/VP1421 の電源状態を示す LED が付いています。LED が示す状態と、その状態に対応する操作については、下表を参照してください。

LED 表示 (電源プッシュボタン)	VP1420/VP1421 の 状態	操作
消灯	電源オフ	VP1420/VP1421 の電源をオンにする場合は、「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを押してください。
オレンジに点滅	システム情報の読み込み中	製品本体が情報の読み込みを終えるまで待機してください。
オレンジ	スタンバイモード	スタンバイモードとは、ユーザーが必要な時に操作を素早く再開できるようにシステムの一部を停止しておく省エネモードのことです。 VP1420/VP1421 のスタンバイモードを解除するには、「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを 1 回押してください。 注意： スタンバイモードの状態では、まず、スタンバイモードを解除してから、本体の電源を切るようにしてください。

(表は次のページに続きます)

LED 表示 (電源プッシュボタン)	VP1420/VP1421 の 状態	操作
グリーン	スタンバイモード解除	<ul style="list-style-type: none"> ◆ スタンバイモードを有効にして省エネを行う場合は、「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを1回押してください。 ◆ 製品の電源をオフにするには <ol style="list-style-type: none"> (1) 「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを3秒間長押ししてください。OSDに確認メッセージが表示されます。 (2) 「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを1回押してください。VP1420/VP1421の電源がオフになります。 <p>注意:IRリモコンでVP1420/VP1421の電源をオフにすることはできません。</p>

第4章 リモート操作

概要

本章では、ブラウザを使ってリモートから VP1420/VP1421 の操作や設定を行う方法について説明します。

ネットワークとログインのデフォルト設定

VP1420/VP1421 では、次のネットワーク設定およびログイン認証情報をデフォルト設定として使用しています。

◆ ネットワークのデフォルト設定

ネットワークパラメーター	設定
IP アドレス	192.168.0.60
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
HTTP ポート	80

注意: VP1420/VP1421 が DHCP 対応のルーターに接続されていると、ネットワークへの接続時に動的 IP アドレスが割り当てられます。この IP アドレスは、RS-232 シリアルコントローラーから read コマンドを使って確認してください。詳細は p.58「第 5 章 CLI コマンド」を参照してください。

◆ ログイン認証のデフォルト設定

ログイン認証情報	デフォルト設定	制限事項
ユーザーネーム	administrator	半角英数字 5～30 文字を使って設定してください。特殊文字は使用できません。また、大文字と小文字も区別されません。
パスワード	password	

対応ウェブブラウザ

VP1420/VP1421 のウェブ UI には、下記の OS とウェブブラウザを使ってアクセスすることができます。

OS	ウェブブラウザ	対応バージョン
Windows 10 (64bit 版)	Edge	40.15063.674.0
	Firefox	64.0
	Chrome	71.0.3578.98
	Opera	57.0.3098.91
	QQ	10.2.1
	Baidu	8.7.5000.4980
	360	9.1.0434
Windows 8.1	IE	11
Windows 7 SP1 (64bit 版)	IE	11
CentOS 7.5 (64bit 版) Kernel 4.18.11-1	Firefox	60.0.4
Ubuntu 18.04 (64bit 版) Kernel 4.19.041900rc3	Chrome	71.0.3578.98-1
Solaris 11.4 (64bit 版) 5.11	Firefox	52.9.0
Mac 10.14.4	Safari	8

ウェブコンソールへのログイン

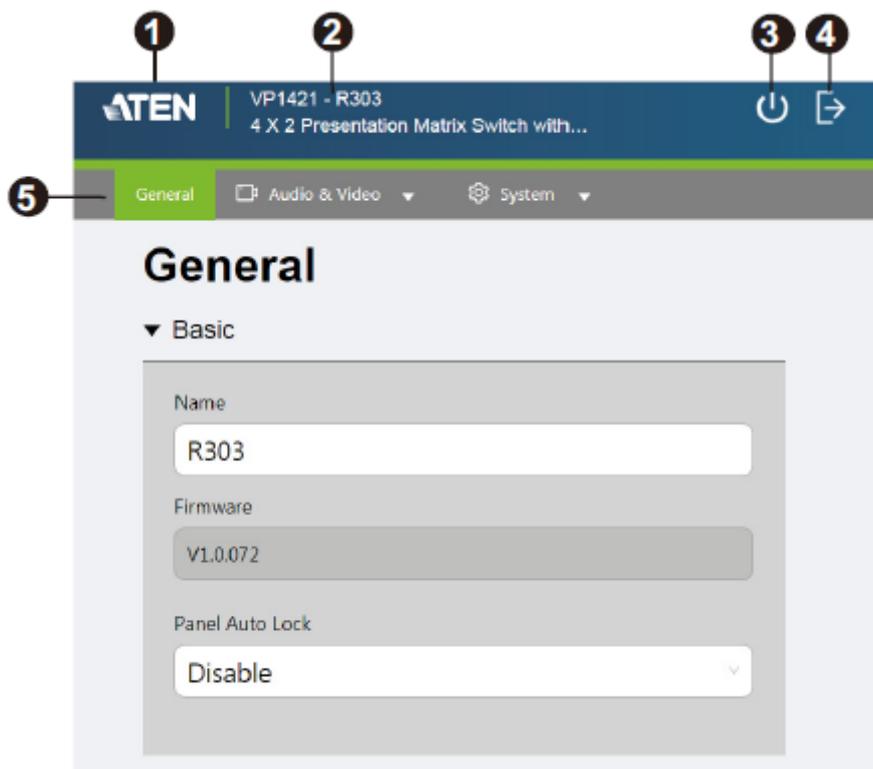
1. ウェブブラウザで、VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力してください。(初期設定 192.168.0.60/255.255.255.0) そうすると、下図のような画面が表示されます。



2. ユーザーネームの欄に「**administrator**」と入力してください。また、このユーザーのパスワードを、パスワード欄に入力してください。(初期設定: password)
3. 「**Log In**」(ログイン)をクリックしてください。そうすると、メイン画面が表示されます。

メイン画面

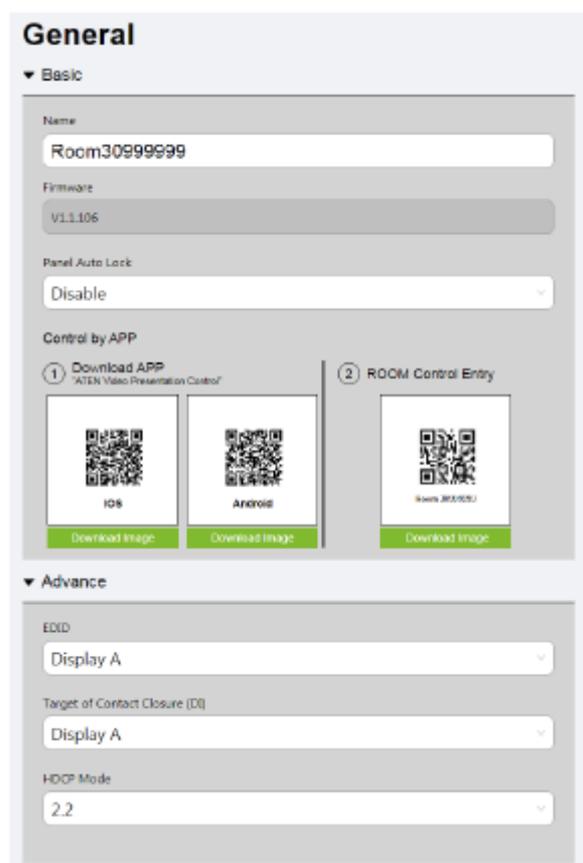
VP1420/VP1421 では、ログインするとデフォルトでメイン画面に遷移します。ウェブコンソールの概要は、次の図および表を参照してください。



No.	名称	説明
1		ロゴをクリックすると、ATEN 公式ウェブサイト(英語版)にアクセスします。
2	Device Information (デバイス情報)	デバイスの型番と名前が表示されます。
3		このアイコンをクリックすると、スタンバイモードを有効にします。このモードは、ユーザーが必要な時に操作を素早く再開できるようにシステムの一部を停止しておく省エネモードのことです。
4		このアイコンをクリックすると、ウェブコンソールからログアウトします。
5	Settings(設定)タブ	タブをクリックすると、各設定の画面に切り替わります。

全般設定

全般設定には、デバイス名、パネルロック、EDID、ログインパスワードの設定が含まれます。全般設定の画面にアクセスするには、ウェブコンソールにログインしてください。



General

▼ Basic

Name
Room30999999

Firmware
V1.1.106

Panel Auto Lock
Disable

Control by APP

① Download APP
"ATN Video Presentation Control"

② ROOM Control Entry

Download Image

Download Image

Download Image

▼ Advance

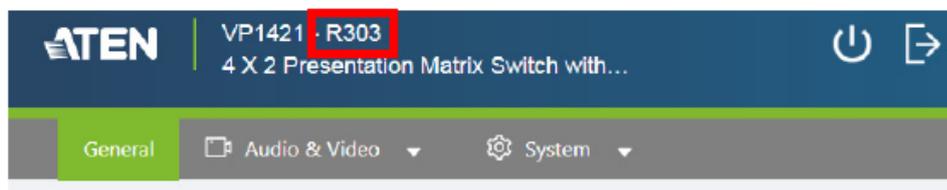
EDID
Display A

Target of Contact Closure (DI)
Display A

HDCP Mode
2.2

◆ Basic(基本)

- **Name(名前)**:VP1420/VP1421 の名前を入力してください。ここには、半角英数字を使って 30 文字以内で入力してください。特殊文字は使用できません。これは、画面上部の型番の後ろに表示されます。



- **Firmware(ファームウェア)**:VP1420/VP1421 のファームウェアのバージョン情報が表示されます。
- **Panel Auto Lock(パネルの自動ロック)**:フロントパネルがロックされるまでのアイドル時間を設定します。
- **Control by App(アプリによる制御)**:
 - ◆ ATEN ビデオプレゼンテーションコントロールアプリをモバイルデバイスにダウンロードするには、モバイルデバイスを使用して「(1) アプリのダウンロード」の QR コードをスキャンしてください。
 - ◆ ATEN ビデオプレゼンテーションコントロールアプリに基本ユーザーとしてログインするには、「(2) 部屋制御エントリー」の QR コードをスキャンしてください。
 - ◆ **注意**:QR コードを表示するには、必ず基本ユーザーアカウントを設定してください。

◆ Advance (詳細)

- EDID
 - **Display A (ディスプレイ A)**: 映像ソース機器に対して、ディスプレイ A の EDID 情報を送信します。
 - **ATEN default (ATEN デフォルト)**: プリセットされた ATEN EDID を、接続ソースへと送信します。
 - **Remix (リミックス)**: 接続されているすべてのディスプレイの EDID を精査し、共通して表示できる解像度情報に生成してから映像ソース機器へと送信します。
- **Target of Contact Closure (接点閉鎖の対象)**: VP104 などリレー接点で操作するディスプレイを設定します。
- **HDCP Mode (HDCP モード)**: VP1420/VP1421 の HDCP を設定します。

◆ Change Password (パスワードの変更):

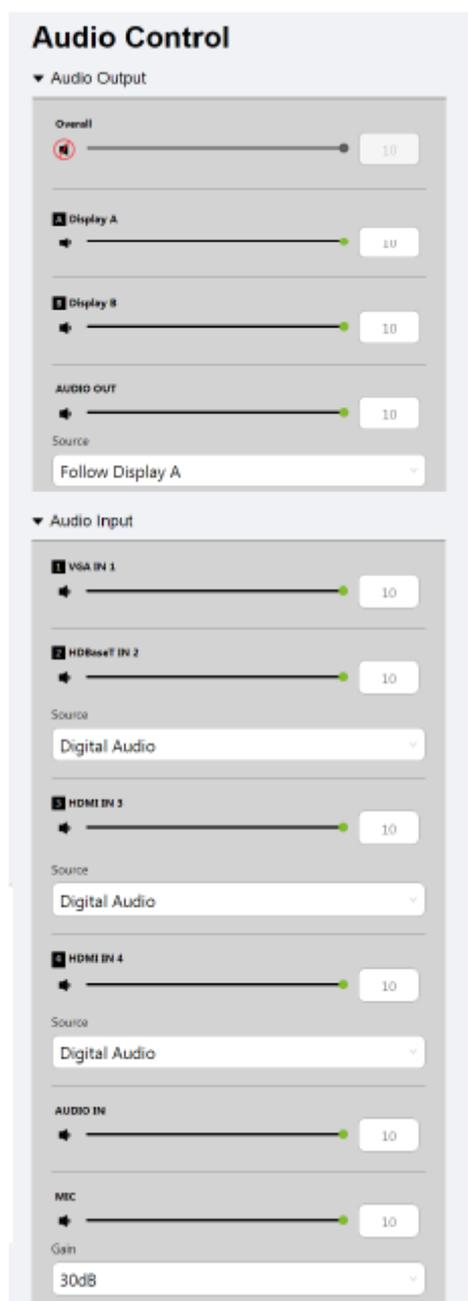
- **アドミニストレーター**: これは管理者用のアカウントで、ウェブコンソールのすべての設定にアクセスできます。デフォルトのユーザーネームは「**administrator**」、パスワードは「**password**」です。
- **基本ユーザー**: 基本ユーザーアカウントは、ウェブコンソールまたは ATEN ビデオプレゼンテーションコントロールアプリのオーディオとビデオのコントロールにアクセスできます。基本ユーザーアカウントを作成するには、ユーザーネームとパスワードをここで指定します。

注意: 有効なパスワード (アドミニストレーターまたは基本ユーザーアカウント) は、大文字と小文字を区別しません。また、5~6 文字で、スペースや特殊文字を使用せずに設定してください。

オーディオ&ビデオ設定

オーディオ制御

オーディオ制御画面にアクセスするには、ウェブコンソールにログインし、「Video & Audio」(ビデオ&オーディオ) > 「Audio」(オーディオ)に進んでください。



Audio Output (オーディオ出力)

◆ Overall Volume (全体のボリューム) :

- VP1420: 接続されているスピーカーのオーディオをミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: 接続されているスピーカーの音量を設定します。

◆ Display A (ディスプレイ A) :

- VP1420: ディスプレイ A のオーディオをミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: ディスプレイ A の音量を設定します。

◆ Display B (ディスプレイ B) :

- VP1420: ディスプレイ B のオーディオをミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: ディスプレイ B の音量を設定します。

◆ Audio Out (オーディオ出力) :

- VP1420: オーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのオーディオを、ミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: オーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーの音量を設定します。
- **Source (ソース) :** VP1420/VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーに対して、オーディオソースを設定します。
 - ディスプレイ A と同じオーディオソースを使用する場合は、「**Follow Display A**」(ディスプレイ A に従う)を選択してください。
 - ディスプレイ B と同じオーディオソースを使用する場合は、「**Follow Display B**」(ディスプレイ B に従う)を選択してください。
 - (オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Audio In**」(オーディオ入力)を選択してください。

Audio Input (オーディオ入力) (VP1420)

◆ HDMI In 2 / HDMI In 3 / HDMI In 4 (HDMI 入力 2 / HDMI 入力 3 / HDMI 入力 4) : VP1420 では利用できません。

- **Source (ソース) :** HDMI 2/HDMI 3/HDMI 4 に対してオーディオソースを設定します。ビデオと同じソースにあるオーディオを使用する場合は、「**Digital Audio**」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Embedded Audio In**」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。

Audio Input (オーディオ入力) (VP1421)

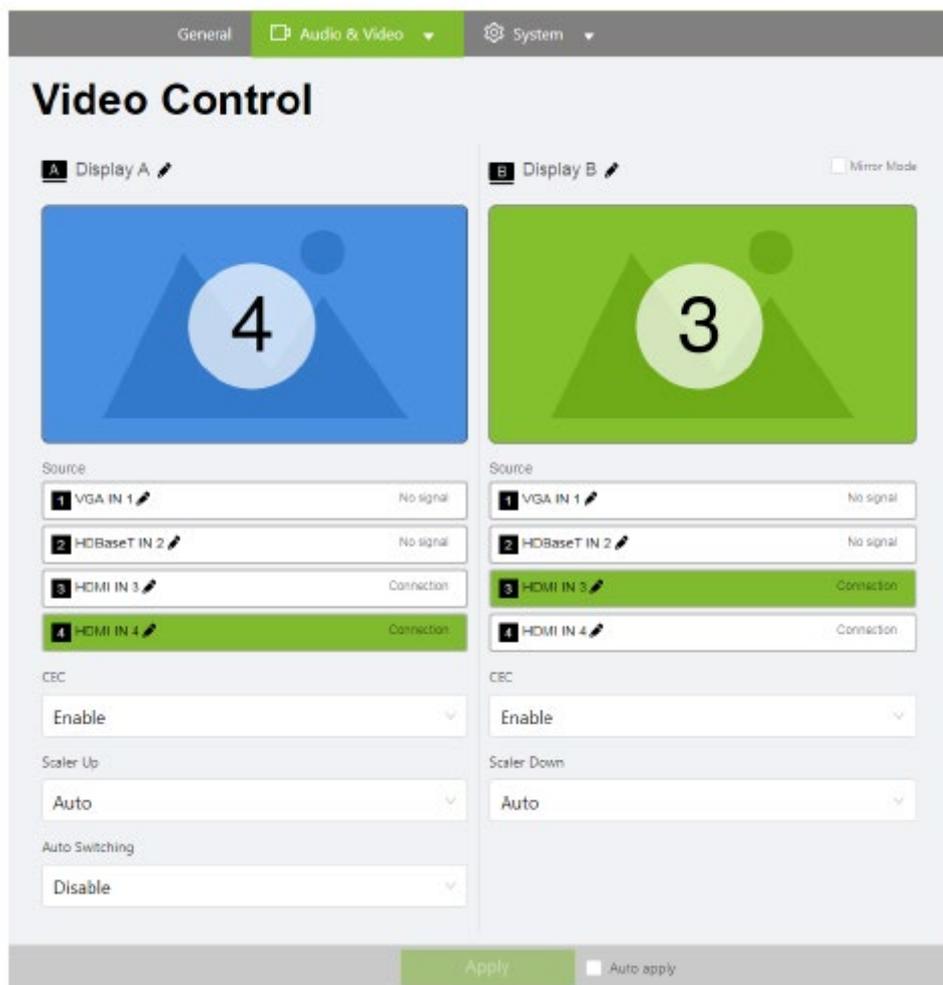
- ◆ **VGA In 1 (VGA 入力 1)**:VGA ソースの音量を設定します。
- ◆ **HDBaseT In 2 (HDBaseT 入力 2)**:HDBaseT ソースの音量を設定します。
 - **Source (ソース)**:HDBaseT のオーディオソースを設定します。ビデオと同じソースにあるオーディオを使用する場合は、「**Digital Audio**」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Embedded Audio In**」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
- ◆ **HDMI In 3 / HDMI In 4 (HDMI 入力 3/HDMI 入力 4)**:HDMI 入力 3/HDMI 入力 4 の音量を設定します。
 - **Source (ソース)**:HDMI 入力 3/HDMI 入力 4 のオーディオソースを設定します。ビデオと同じソースにあるオーディオを使用する場合は、「**Digital Audio**」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Embedded Audio In**」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
- ◆ **Audio In (オーディオ入力)**:オーディオ入力ポートに接続された個別のオーディオソースの音量を設定します。
- ◆ **Mic Volume (マイクボリューム)**:マイク入力ポートに接続されたマイクの出力音量を設定します。
 - **Gain (ゲイン)**:マイクの入力ゲインを設定します。

「適用」と「自動適用」

オーディオ制御画面で行った変更を自動的に適用する場合は、画面の下にある「**Auto Apply**」(自動適用)を選択してください。

ビデオ制御

ビデオ制御画面では、ビデオソースを割り当てたり、ビデオ設定を定義したりすることができます。この画面にアクセスするには、ウェブコンソールにログインし、「Video & Audio」(ビデオ&オーディオ) > 「Video」(ビデオ)に進んでください。



- ◆ **Display A / Display B (ディスプレイ A/ディスプレイ B)** : 選択中のソースのプレビューを表示します。また、プレビュー中央には、ソース番号が表示されます。✎ をクリックすると、ソース名を編集することができます。
- ◆ **Mirror Mode (ミラーモード)** : この項目が有効になっていると、ディスプレイ B にはディスプレイ A と同じビデオコンテンツが表示されます。
- ◆ **Source (ソース)** : 全ソースポートの接続状況、および現在割り当てられているソース(グリーンで表示)が一覧表示されます。

- ◆ ディスプレイに対するソースを切り替える場合は、一覧からソースを選択してください。割り当てられているソースはグリーンで強調表示されます。
- ◆ ソース名を編集する場合は、 をクリックしてください。
- ◆ **CEC**: CEC (Consumer Electronics Control) は、相互接続された HDMI デバイスを 1 台のリモコンで操作できるようにする業界標準規格です。この設定は、デフォルトで有効になっています。
- ◆ **Scaler Up (アップスケーリング)**: 解像度 1080p のソースを 4K へと自動的にアップスケーリングする場合は、「Auto」(自動)を選択してください。サポートされるアップスケーリング解像度については、p.116「製品仕様」を参照してください。
- ◆ **Scaler Down (ダウンスケーリング)**: 4K 解像度のソースを 1080p へと自動的にダウンスケーリングする場合は、「Auto」(自動)を選択してください。サポートされるダウンスケーリング解像度については、p.116「製品仕様」を参照してください。
- ◆ **Auto Switching (Plugged) (自動切替(接続時))**: 新規ソースの接続時に、ディスプレイ A のビデオソースを自動的に切り替えるかどうかを定義します。
 - **Disable (無効)**: 自動切替を無効にします。
 - **Next (次へ)**: 新規に接続されたソースへと自動的に切り替えます。
- ◆ **Auto Switching (Unplugged) (自動切替(非接続時))**: 現在のソースの接続時に、ディスプレイ A のビデオソースを自動的に切り替えるかどうかを定義します。
 - **Disable (無効)**: 自動切替を無効にします。
 - **Next (次へ)**: 現在のビデオソースが接続されたときに、次に使用可能なソースへと自動的に切り替えます。
 - **Last (最後)**: ソースの接続順序に基づいて、前の使用可能なソースへと自動的に切り替えます。例えば、ソースが VP1420/VP1421 にポート 2、ポート 3、ポート 4、ポート 1 の順序で接続され、ディスプレイ A がポート 3 に切り替えられた場合、ソース(ポート 3)が取り外されると、ディスプレイ A は自動的にポート 2 に切り替わります。

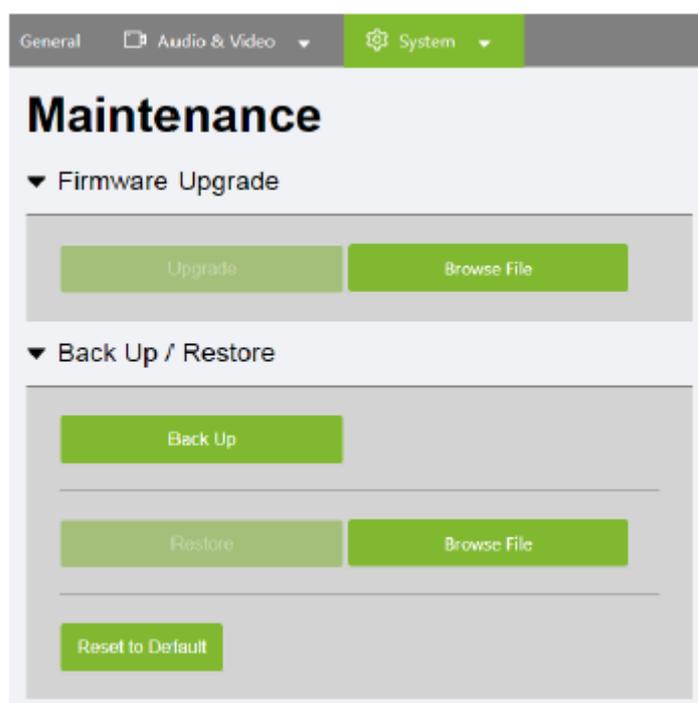
「適用」と「自動適用」

ビデオ制御画面で行った変更を自動的に適用する場合は、画面の下にある「Auto Apply」(自動適用)を選択してください。

システム設定

メンテナンス

メンテナンス画面を使うと、システムファームウェアのアップグレード、システム設定のバックアップやリストア、およびデフォルト設定のリストアを行うことができます。この画面にアクセスするには、ウェブコンソールにログインし、「System」(システム) > 「Maintenance」(メンテナンス)に進んでください。



システムファームウェアのアップグレード

1. 適用したいファームウェアファイルを準備してください。
 - a) 弊社ウェブサイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)にアクセスしてください。
 - b) ファームウェアの最新版をダウンロードしてください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページのトップページの右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。
2. VP1420/VP1421 のウェブコンソールにログインし、「System」(システム) > 「Maintenance」

(メンテナンス)に進んでください。

3. 「Firmware Upgrade」(ファームウェアアップグレード)セクションで、「**Browse File**」(ファイルの参照)をクリックして、手順 1-(b)でダウンロードしたファームウェアファイルを選択したら、「**Upgrade**」(アップグレード)をクリックしてください。そうすると、アップグレード処理が開始します。
4. アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示され、製品本体が再起動します。

システム設定のバックアップ

VP1420/VP1421 の設定は、エクスポートしてバックアップを取ることができます。なお、このバックアップには、ユーザーネームとパスワードの設定は含まれませんので、ご注意ください。

1. VP1420/VP1421 のウェブコンソールにログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス)に進んでください。
2. 「**Backup**」(バックアップ)をクリックしてください。

システム設定のリストア

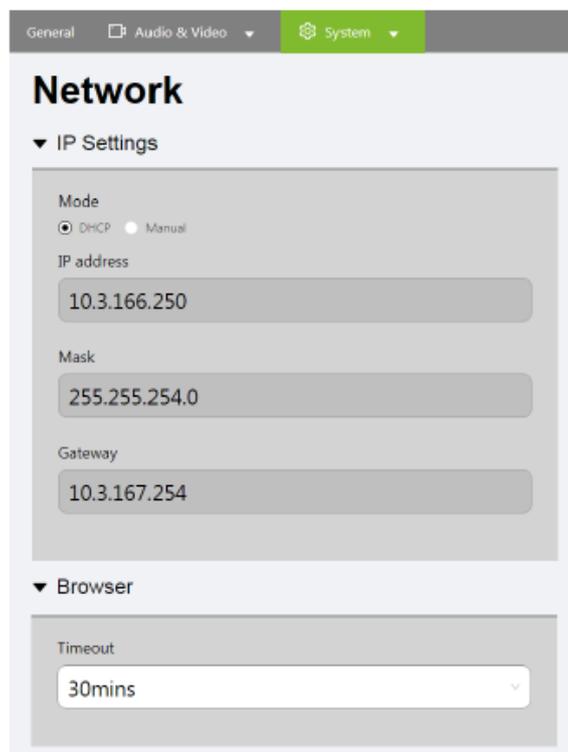
1. VP1420/VP1421 のウェブコンソールにログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス)に進んでください。
2. VP1420/VP1421 の設定をリストアするには、あらかじめ保存しておいたバックアップファイル(*.aes ファイル)を、「**Browse File**」(ファイルを参照)をクリックして選択して、「**Restore**」(リストア)をクリックしてください。

VP1420/VP1421 のデフォルトへのリセット

1. VP1420/VP1421 のウェブコンソールにログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス)に進んでください。
2. 「**Reset to Default**」(デフォルトへのリセット)をクリックしてください。この操作を行うと、ネットワーク設定を含むすべての設定をデフォルト値にリセットします。

ネットワーク設定

VP1420/VP1421 のネットワーク接続設定を変更するには、ウェブコンソールにログインし、「System」(システム) > 「Network」(ネットワーク)に進んでください。



IP Settings (IP 設定)

- ◆ **Mode (モード)**: VP1420/VP1421 が IP アドレスを取得してネットワークに接続する方法を設定します。
 - **DHCP**: このオプションを選択すると、VP1420/VP1421 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS がそれぞれ、接続されたネットワークスイッチによって動的に割り当てられます。
 - **Manual (手動)**: このオプションを選択すると、VP1420/VP1421 は固定の IP アドレスを使用します。この場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを、それぞれ手入力で設定してください。

Browser (ブラウザー)

- ◆ **Timeout (タイムアウト)**: 一定時間操作がない場合に、自動でログアウトするまでの時間を設定します。設定時間を超えると、自動的にログアウトします。

第5章

CLI コマンド

概要

VP1420 / VP1421 は、PC やコントロールシステムから操作・設定変更ができます。

接続後は、RS-232 または Telnet コマンドで設定や制御が可能です。本章では、RS-232 / Telnet での接続方法とコマンド構文を説明します。

Telnet 経由での接続

VP1420/VP1421 に対して Telnet セッションを確立するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. VP1420/VP1421 と共有するネットワークに、ホストコンピューターまたはコントロールシステムを接続してください。
2. お使いのコンピューターで、コマンドプロンプトのような CLI プログラムを起動してください。
3. CLI プログラムのコマンドラインで、VP1420/VP1421 の IP アドレスを次のように入力してください。

```
telnet [IP アドレス]: 23
```

4. **[Enter]**キーを押してください。そうすると、ログイン画面が表示されます。
5. ログインプロンプトが表示されたら、VP1420/VP1421 のユーザーネームとパスワードを入力してください。
6. VP1420/VP1421 とのセッションが確立すると、VP1420/VP1421 の制御や設定が RS-232 コマンド経由で行えます。コマンドに関する詳細は、次のページを参照してください。

◆ p.60「コマンド構文」

◆ p.61「コマンド一覧」

注意: 既にセッションを使用しているユーザーネームを使ってログインした場合、新規ログインが有効になり、既存のログインから置き換わります。

RS-232 経由での接続

1. VP1420/VP1421 本体の RS-232 シリアルポートに、ホストコンピューターまたはコントロールシステムを接続してください。
2. お使いのコントローラー用コンピューターで RS-232 シリアル制御を行うのに適したコントローラーソフトウェアをダウンロードし、インストールを行ってください。
3. ソフトウェアを実行し、次の接続設定を行ってください。
 - ◆ 接続するシリアルライン: **COM1**
 - ◆ 速度(ボーレート): **9600**
 - ◆ データビット: **8**
 - ◆ ストップビット: **1**
 - ◆ パリティ: **なし**
 - ◆ フロー制御: **なし**
4. VP1420/VP1421 とのセッションが確立すると、RS-232 コマンドを送信して VP1420/VP1421 の設定を行うことができます。コマンドに関する詳細は、次のページを参照してください。
 - ◆ p.60「コマンド構文」
 - ◆ p.61「コマンド一覧」

コマンド構文

- ◆ コマンドの基本形式は次のとおりです。

コマンド パラメーター<引数> {1|2|3}

※ 記号 (< > [] { }) は入力しません。

表記法	説明
コマンド	コマンド名を示します。
パラメーター	設定項目の名称です。コマンドの詳細を指定する時に使用します
<引数>	ユーザーが入力する値です。必須項目です
[]	任意で指定できる項目です。
{ }	カッコにある複数の選択肢から 1 つを指定します。
	いずれか 1 つを選択します。記号「 」は入力しません。

- ◆ パラメーターを複数指定する場合、順番は問いません。以下は同じ動作となります。

コマンド名 + パラメーター1 + パラメーター2

コマンド名 + パラメーター2 + パラメーター1

コマンド一覧

VP1420/VP1421 に Telnet または RS-232 経由でアクセスし、制御や設定を行うには、次のコマンドを使用します。VP1420/VP1421 に対して Telnet または RS-232 セッションを確立する方法の詳細については、p.58「Telnet 経由での接続」、および p.59「RS-232 経由での接続」を参照してください。

ポート番号

VP1420 / VP1421 では、各入出力ポートに番号が割り当てられています。コマンドでポートを指定する場合は、下表のポート番号を使用します。コマンドでは、表の「ポート番号」を指定してください。

例:

ビデオ入力 1 → 101

オーディオ入力 → 105

ソース	ソース番号	インターフェース		ポート番号
		VP1420	VP1421	
ビデオ入力	1	VGA	VGA	i01
	2	HDMI	HDBaseT	i02
	3	HDMI	HDMI	i03
	4	HDMI	HDMI	i04
ビデオ出力	1	HDMI	HDMI	o01
	2	HDMI	HDBaseT	o02
オーディオ入力	N/A	ステレオ	ステレオ	i05
オーディオ出力	N/A	-	ステレオ	o03
	N/A	光デジタル	光デジタル	o03
マイク	N/A	-	✓	i06

cec

◆ 機能

指定されたポートにおける CEC (Consumer Electronics Control) 機能を有効/無効にします。

◆ 構文

cec o<出力ポート> { on | off }

◆ パラメーター

- o <出力ポート> : 出力ポートを2桁の数字で指定します。
- on : 特定のポートにおけるCECを有効にします。
- off : 特定のポートにおけるCECを無効にします。

◆ 例

cec o01 on

displaymode

◆ 機能

VP1420/VP1421 をマトリックスモードまたはミラーモードに設定します。

◆ 構文

displaymode { matrix | mirror }

◆ パラメーター

- matrix : このモードが有効になっていると、A/Vソースを個別に設定したり、別々の出力を表示したりすることができます。
- mirror : このモードが有効になっていると、ディスプレイBにはディスプレイAに割り当てられているA/Vソースが使用され、同一コンテンツが表示されます。

◆ 例

displaymode matrix

echo

◆ 機能

VP1420/VP1421 のエコー機能を有効または無効にします。

◆ 構文

echo { on | off }

◆ パラメーター

- on : VP1420/VP1421 におけるエコー機能を有効にします。
- off : VP1420/VP1421 におけるエコー機能を無効にします。

edid

◆ 機能

VP1420/VP1421 の EDID モードを設定します。

◆ 構文

edid { port1 | remix | default }

◆ パラメーター

- **port1** : 出力ポート A に接続されたディスプレイに従って VP1420/VP1421 の EDID モードを設定します。
- **remix** : 接続されているすべてのディスプレイの EDID を精査し、最適な値を接続ソースへと送信します。
- **default** : VP1420/VP1421 の EDID モードを ATEN デフォルトに設定します。このモードでは、プリセットされた ATEN EDID を接続ソースへと送信します。

◆ 例

edid default

mute

◆ 機能と構文

構文	機能
mute	各入出力ポートに対するミュート設定を表示します。
mute { i<入力ポート> i* }	指定された入力ポートまたは出力ポートに対するミュート設定を表示します。
mute { o<出力ポート> o sys o* }	この入力コマンドは VP1421 でのみサポートされます。
mute { i<入力ポート> i* } { on off }	指定されたオーディオ入力 (VP1421 のみ) またはオーディオ出力をミュートまたはミュート解除します。
mute { o<出力ポート> o sys o* } { on off }	この入力コマンドは VP1421 でのみサポートされます。

◆ パラメーター

- **i<入力ポート>** : 入力ポートを 2 桁の数字で指定します。
- **i*** : すべての入力ポートを表します。
- **o<出力ポート>** : 出力ポートを 2 桁の数字で指定します。
- **o sys** : すべてのオーディオ出力 (ディスプレイとスピーカー) を表します。
- **o*** : すべての出力ポートを表します。

- on : 指定された入出力ポートにおけるオーディオをミュートします。
- off : 指定された入出力ポートにおけるオーディオをミュート解除します。

◆ 例

mute o01 off

read

◆ 機能と構文

構文	機能
read	各出力ポートに対して割り当てられている A/V 入力、EDID モード、デバイス情報、ネットワーク設定を表示します。
read version	システムファームウェアのバージョンを表示します。
read o<出力ポート> connection	指定された出力ポートに対する A/V 入力の割り当てを表示します。
read o* connection video	すべての出力ポートに対するビデオ入力の割り当てを表示します。
read o<出力ポート> connection audio	指定された出力ポートに対するオーディオ入力の割り当てを表示します。
read o* connection audio	すべての出力ポートに対するオーディオ入力の割り当てを表示します。

reset

◆ 機能

VP1420/VP1421 をデフォルト設定にリセットします。

◆ 構文

reset

scaling

◆ 機能と構文

構文	機能
scaling	出力 A および B におけるスケーリングの設定を読み込みます。
scaling o<出力ポート> { auto off }	特定の出力ポートを自動またはオフに設定します。

standby

◆ 機能と構文

構文	機能
standby	現在のスタンバイモードの設定を表示します。スタンバイモードとは、ユーザーが必要な時に操作を素早く再開できるようにシステムの一部を停止しておく省エネモードのことです。
standby { on off }	スタンバイモードを有効または無効にします。

◆ パラメーター

- on : スタンバイモードを有効にします。
- off : スタンバイモードを無効にします。

SW

◆ 機能

特定のディスプレイにおける特定のソースを切り替えます。

◆ 構文

sw { o<出力ポート> | o* } { i<入力ポート> | i+ | i- }

◆ パラメーター

- i<入力ポート> : 入力ポートを2桁の数字で指定します。
- + : 次の入力ポートを表します。
- - : 前の入力ポートを表します。
- o<出力ポート> : 出力ポートを2桁の数字で指定します。
- o* : すべての出力ポートを表します。

◆ 例

sw o01 i02

sw o01 +

sw o* i02

swmode

◆ 機能と構文

構文	機能
swmode auto plugin { auto off }	新規ソースの接続時におけるディスプレイ A のビデオソースの自動切替を有効または無効にします。
swmode { next prev off }	現在のソースを取り外したときに、ディスプレイ A のビデオソースの自動切替を実行するかどうかを設定します。

◆ パラメーター

- **plugin** : 新規ソースが接続されたときに、ディスプレイ A のビデオソースを自動的に切り替える機能を有効にします。
 - ◇ **auto** : 新規に接続したソースへと自動的に切り替えます。
 - ◇ **off** : 新規ソースを接続しても、ディスプレイ A のビデオソースを自動で切り替えないようにします。
- **plugout** : 現在のソースを取り外したときに、ディスプレイ A のビデオソースを自動的に切り替える機能を有効にします。
 - ◇ **next** : 現在のソースを取り外したときに、次の利用可能なソースに自動で切り替えます。
 - ◇ **prev** : ソースの接続順序に基づいて、現在のソースを取り外したときに、前に利用可能なソースへと自動的に切り替えます。
 - ◇ **off** : 現在のソースを取り外しても、ディスプレイ A のビデオソースを自動で切り替えないようにします。

◆ 例

swmode plugin auto

swmode plugout prev

volume

◆ 機能と構文

構文	機能
volume	全体のボリューム、および各入出力ポートに対するボリュームを表示します。なお、このコマンドは VP1421 でのみサポートされています。
volume { i<入力ポート> i* } v<ボリューム数値>	特定の入力ポートまたは出力ポートに対するボリュームを設定します。なお、このコマンドは VP1421 でのみサポートされています。
volume { o<出力ポート> o sys o* } v<ボリューム数値>	

◆ パラメーター

- i<入力ポート> : 入力ポートを2桁の数字で指定します。
- i* : すべての入力ポートを表します。
- o<出力ポート> : 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - ◇ 出力1(VGA/オーディオ入力) : o01
 - ◇ 出力2(HDBaseT) : o02
- o sys : すべてのオーディオ出力(ディスプレイとスピーカー)を指します。
- o* : すべての出力ポートを表します。
- v<ボリューム数値> : 指定されたオーディオポートに対して設定したいボリュームの値を、2桁の数字(01~10)で設定します。

◆ 例

volume i01 v10

volume o03 v05

audiomap

◆ 機能と構文

構文	機能
o {出力ポート}	出力ポートを指定します。
src {ポート}	ディスプレイ A またはディスプレイ B からのオーディオソースを指定します。

◆ パラメーター

- **o**<出力ポート> : 出力ポートを 2 桁の数字で指定します。
- **src**<ポート> : オーディオソースを 2 桁の数字で指定します。
 - ◇ **src01** : ディスプレイ A を表します。
 - ◇ **src02** : ディスプレイ B を表します。

◆ 例

audiomap o03 src01

Telnet ログインコマンド

Telnet ログインコマンドは、VP1420 および VP1421 の両方において、Telnet ログイン機能を有効または無効にします。Telnet ログイン機能を有効にすると、ユーザーは Telnet 接続を通じて VP1420 /VP1421 にログインする際に、ユーザーネームとパスワードの入力を求められます。

Telnet ログインコマンドの構文は次のとおりです。
コマンド + ログイン + 制御 + [Enter]

例えば、Telnet ログイン機能を有効にするには、次を入力します。
telnet login on [Enter]

Telnet ログインコマンドで使用可能な値は、下表のとおりです。

構文	説明
telnet	Telnet ログインコマンド

ログインコマンド	説明
login	Telnet ログインコマンド

制御	説明
on	Telnet ログインコマンドを有効にします。
off	Telnet ログインコマンドを無効にします。

注意: 各コマンド文字列はスペースで区切ります。

使用可能な Telnet ログインコマンドは下表のとおりです。

コマンド	ログイン	制御	Enter	説明
telnet	login	on	[Enter]	Telnet ログインコマンドを有効にします。
telnet	login	off	[Enter]	Telnet ログインコマンドを無効にします。

第6章

ビデオプレゼン制御アプリ

概要

ATEN ビデオプレゼン制御アプリは、VP1420/VP1421 デバイスのシステム設定が簡単に行えるよう設計されたものです。

対応システム

ATEN ビデオ制御プレゼンアプリは、次のモバイル OS に対応しています。

モバイル OS	説明
Android	バージョン 8.0 以降
iOS	バージョン 12 以降

アプリのインストールと設定

- モバイルデバイスに ATEN ビデオ制御アプリをインストールしてください。
 - モバイルデバイスから、App Store  または Google Play  のアイコンをタップしてください。
 - 検索ボックスに「ATEN Video Presentation Control App」と入力してください。
 - 「ATEN Video Presentation Control App」をタップしてアプリをインストールしてください。
- モバイルデバイスから、「ATEN Video Presentation Control App」のアイコン  をタップしてください。

注意: モバイルデバイスは必ず VP1420/VP1421 がセットアップされているネットワークに接続してください。

iOS 版

メイン画面

ATENビデオ制御アプリにログインすると、デフォルトでスキャン画面に遷移します。各タブの機能概要については、下表を参照してください。



No.	名称	説明
1	情報 	このアイコンをタップすると、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。
2	Manually Connect (手動接続)	このアイコンをタップすると、IP アドレスとパスワードを入力して、コントロールパネルに手動接続し、ログインします。
3	QR コードリーダー	このアイコンをタップすると、QR コードをスキャンして、会議に参加します。
4	QR コードイメージを 読み込む	このアイコンをタップすると、QR コードの画像をアップロードして、会議に参加します。

情報

次の画面は、情報画面の外観です。ここには、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。「**Contact us**」(お問い合わせ)をタップすると、ATEN 公式ウェブサイトへ接続します。



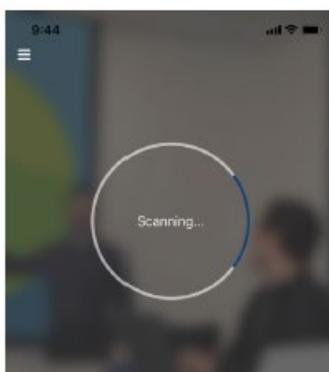
コントロールパネルへのログイン

VP1420/VP1421 で ATEN ビデオプレゼン制御アプリを介してコントロールパネルにログインするには3つの方法があります。アプリが開いている場合、アクセスできるデバイスや利用可能な部屋を自動的にスキャンします。あるいは、IP アドレスとパスワードを手入力して、コントロールパネルにログインすることもできます。いずれの方法についても、次のセクションから説明していきます。

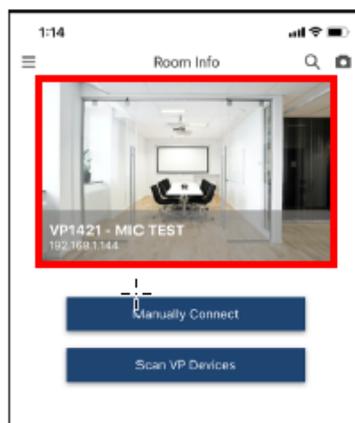
コントロールパネルに自動ログインするには

自動スキャンを実行してコントロールパネルに自動ログインするには、次の手順で操作してください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、スキャン処理が完了するまでお待ちください。

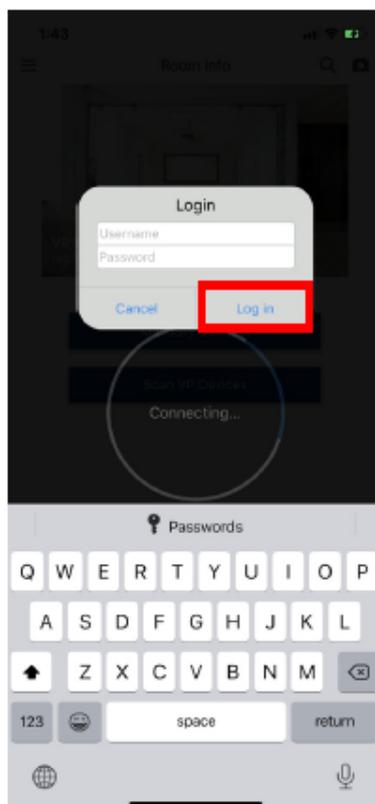


2. スキャンが完了すると、「Room List」(部屋一覧)画面が表示されます。部屋をタップしてコントロールパネルにログインしてください。

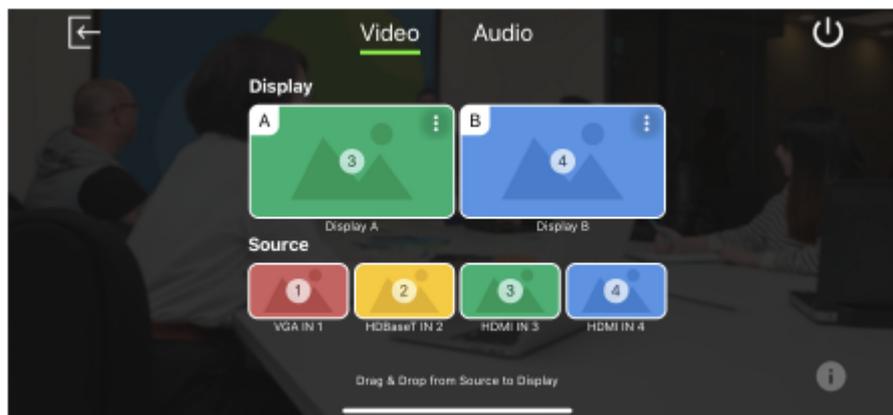


3. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティー上の理由から、VP1420/VP1421 のウェブコンソールから初めてログインすると、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



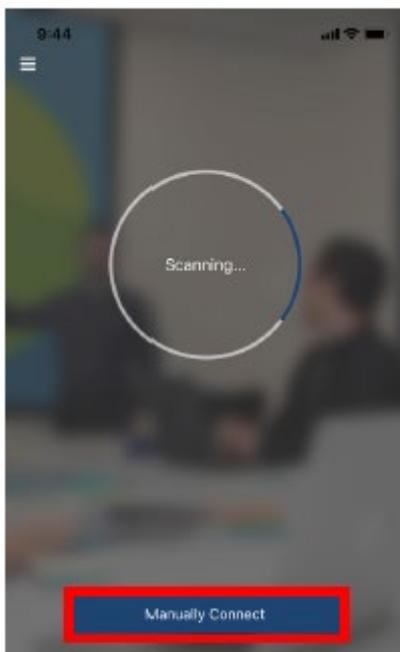
4. これで、正常にコントロールパネルへとログインできたこととなります。



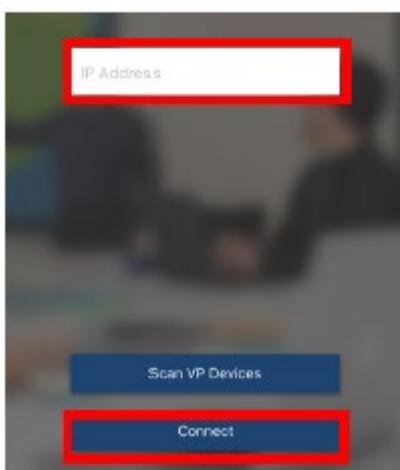
コントロールパネルに手動接続でログインするには

手動で接続してコントロールパネルにログインするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。

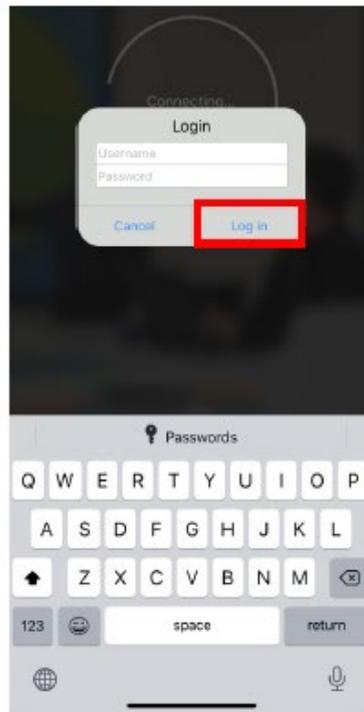


2. VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「**Connect**」(接続)をタップしてください。



3. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

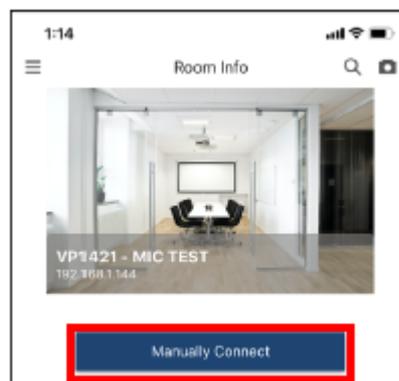
注意: セキュリティー上の理由から、VP1420/VP1421 のウェブコンソールから初めてログインすると、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



4. これで、正常にコントロールパネルへとログインできました。

または

5. 「Room List」(部屋一覧)画面から「Manually Connect」(手動接続)をタップしてください。

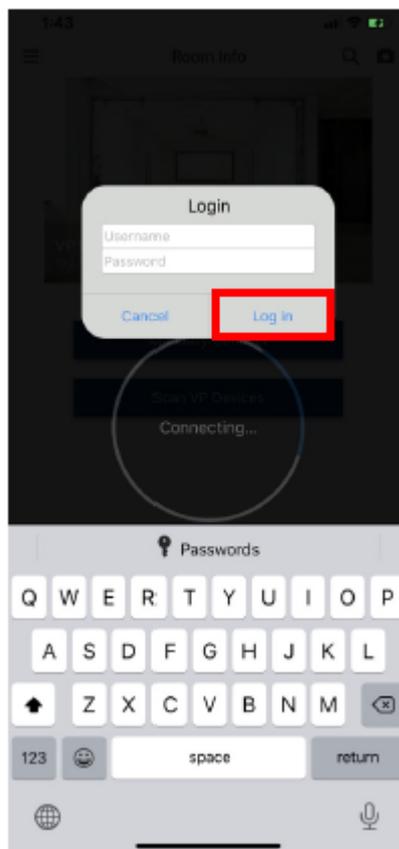


6. VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「Connect」(接続)をタップしてください。



7. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティ上の理由から、VP1420/VP1421 のウェブコンソールから初めてログインすると、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。

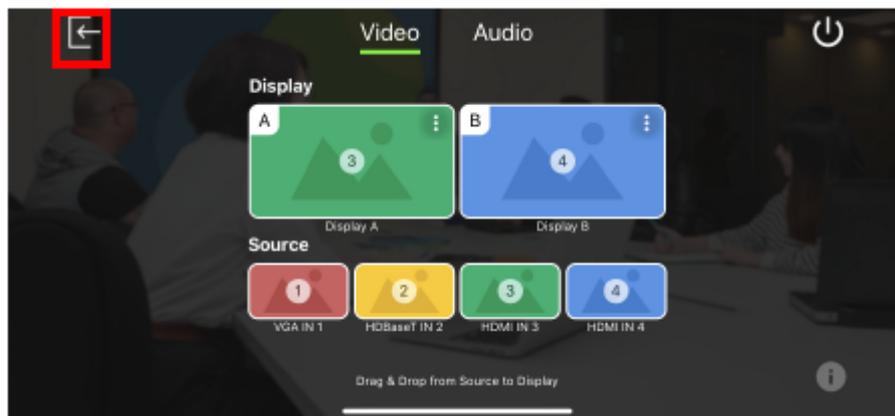


8. これで、正常にコントロールパネルへとログインできました。

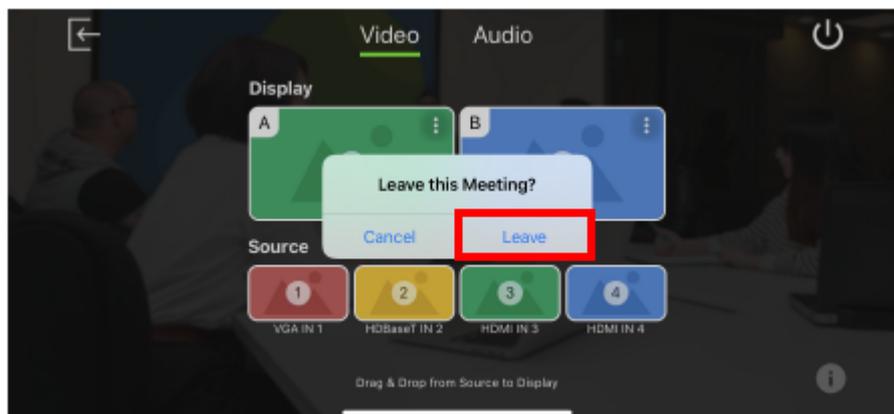
会議からの退室

コントロールパネルから退室するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



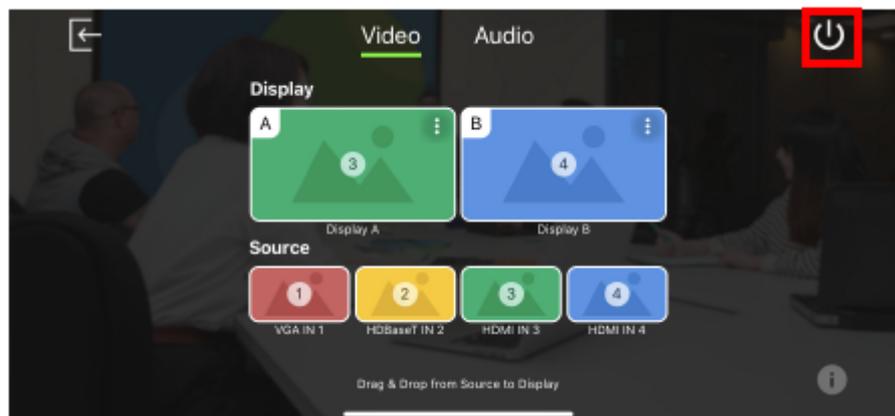
2. 警告メッセージが表示されたら、「Leave」(退室)をタップしてください。



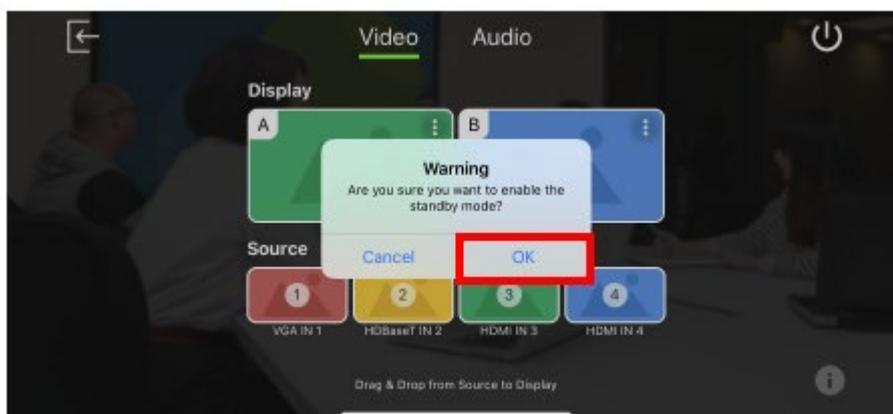
スタンバイモードの有効化

スタンバイモードを有効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



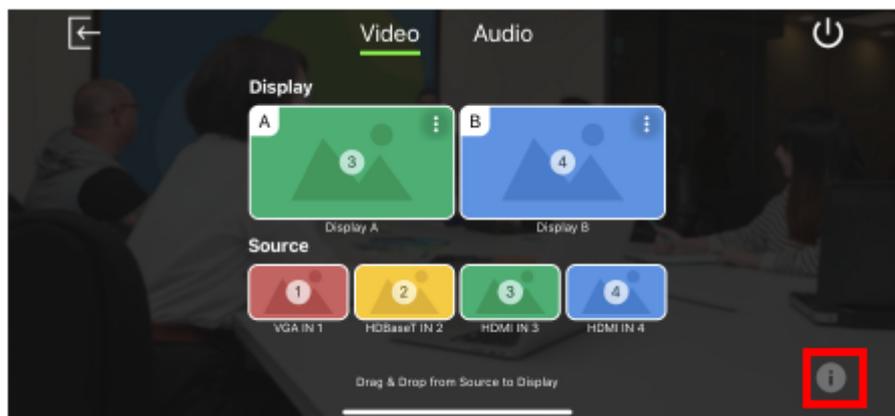
2. 警告メッセージが表示されたら、「OK」をタップしてください。



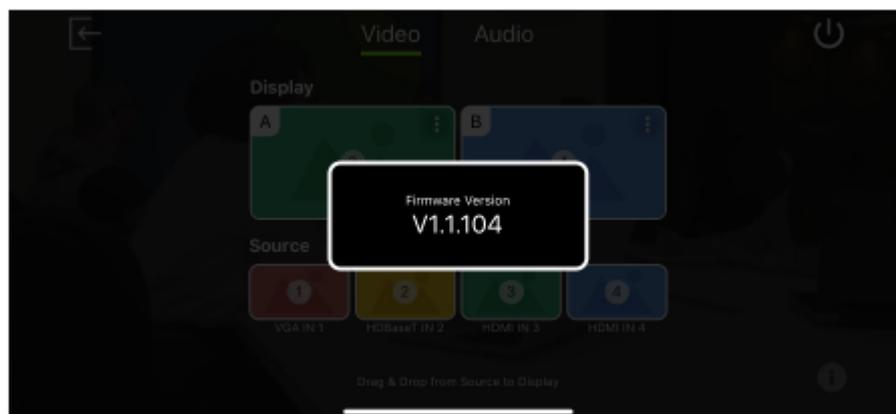
ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



2. 下図のような画面が表示されます。



ビデオパネル



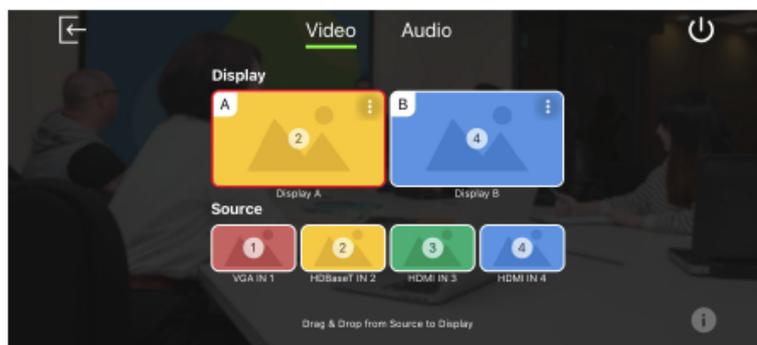
ディスプレイに対するソースの切り替え

ディスプレイに対してソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ソース2をディスプレイAに切り替えるには、ディスプレイの画面からソースをディスプレイAにドラッグしてください。



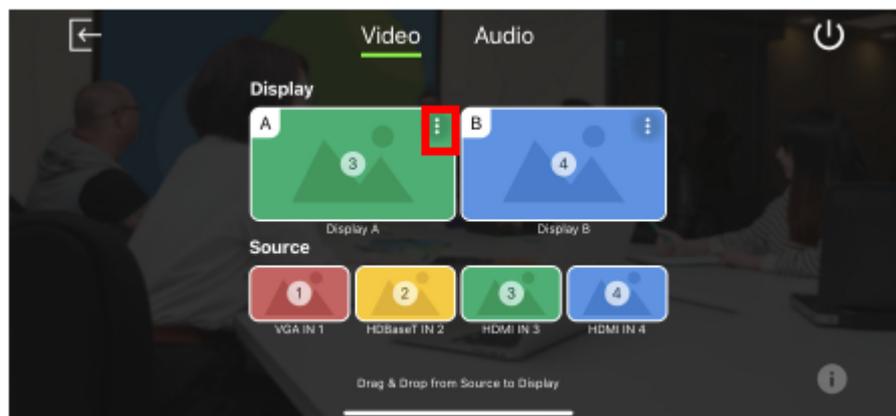
2. この操作で、ディスプレイAがソース2のコンテンツを表示するようになります。



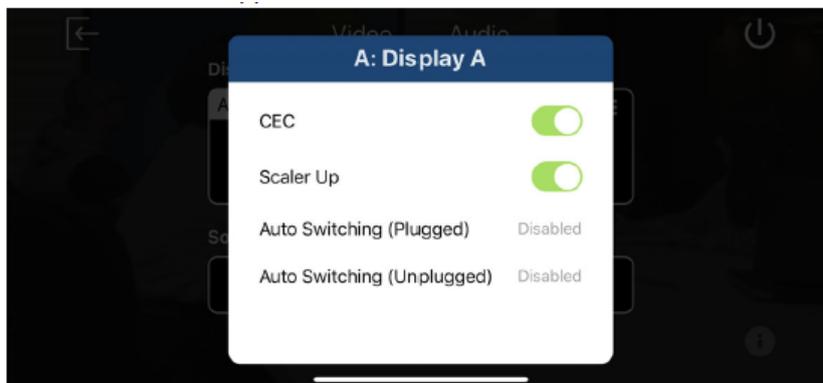
ディスプレイ A の設定

ディスプレイ A に対する表示設定は、次の手順で行ってください。

1. ディスプレイ A の右上にある  マークをタップしてください。



2. 下図のような画面が表示されます。

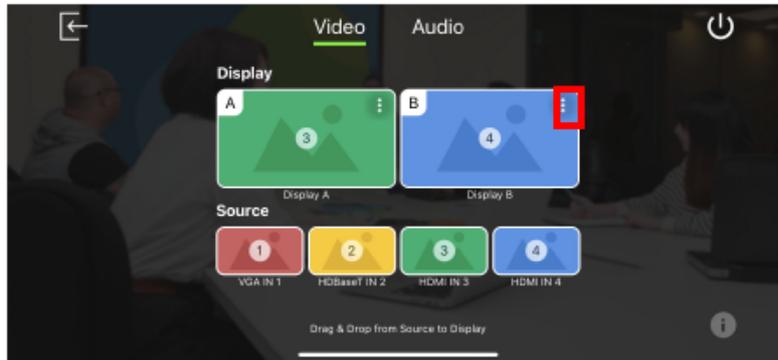


ツール	説明
CEC	この項目をタップすると、CEC 機能の有効／無効を切り替えます。CEC は、HDMI 接続機器を 1 台のリモコンで操作できる制御機能です。初期設定は「有効」です。
Scaler Up (アップスケーリング)	この項目をタップすると、アップスケーリング機能の有効／無効を切り替えます。有効にすると、1080p の映像を 4K へ自動変換します。対応解像度は p.116「製品仕様」を参照してください。
Auto Switching (Plugged) (自動切替:接続時)	新しいソースを接続した際に、自動で切り替えるかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効): 自動切替を行いません。 ◆ Next (次へ): 新しく接続されたソースへ自動で切り替えます。
Auto Switching (Unplugged) (自動切替:取り外し時)	現在表示中のソースを取り外した際の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効): 自動切替を行いません。 ◆ Next (次へ): 次に利用可能なソースへ切り替えます。 ◆ Last (最後): 直前に使用していたソースへ切り替えます。 例: ポート 1→2→3→4 の順に接続されている場合、 ポート 3 を取り外すと、ポート 2 へ自動で切り替わります。

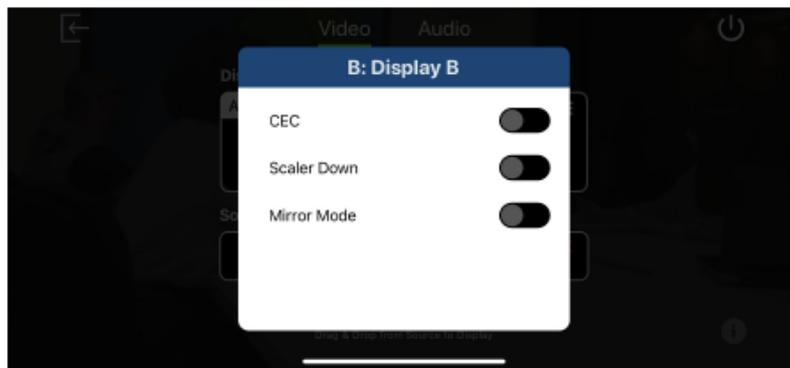
ディスプレイ B の設定

ディスプレイ B に対する表示設定は、次の手順で行ってください。

1. ディスプレイ B の右上にある  マークをタップしてください。

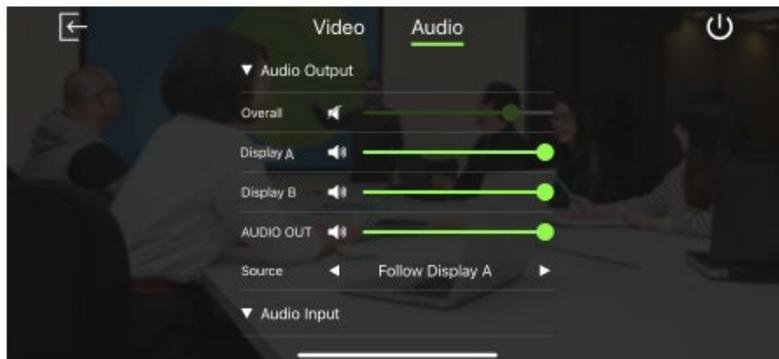


2. 下図のような画面が表示されます。

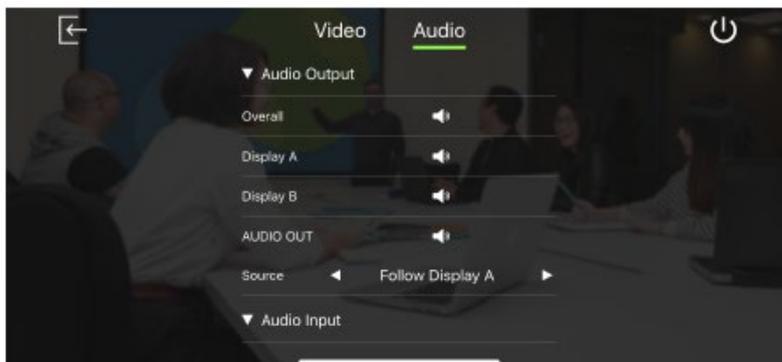


ツール	説明
CEC	CEC 機能の有効／無効を切り替えます。 CEC は、HDMI 接続機器を 1 台のリモコンで操作できる制御機能です。初期設定は「有効」です。
Scaler Down (ダウンスケーリング)	ダウンスケーリング機能の有効／無効を切り替えます。 有効にすると、4K 映像を 1080p へ自動変換します。
Mirror Mode (ミラーモード)	ミラーモードの有効／無効を切り替えます。 有効にすると、ディスプレイ B にディスプレイ A と同じ映像を表示します。

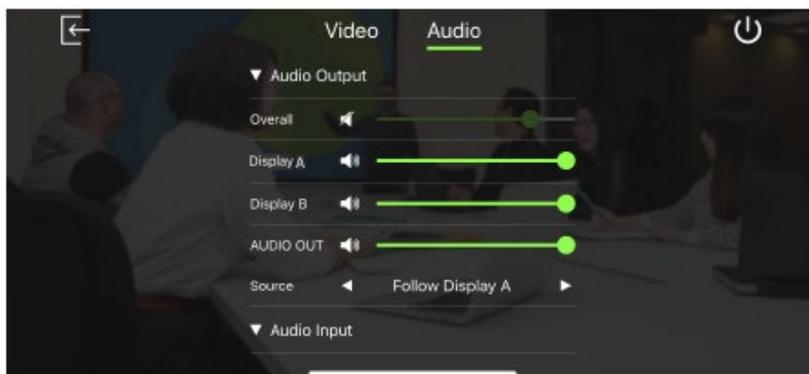
オーディオパネル



VP1420 のオーディオ出力設定



VP1421 のオーディオ出力設定

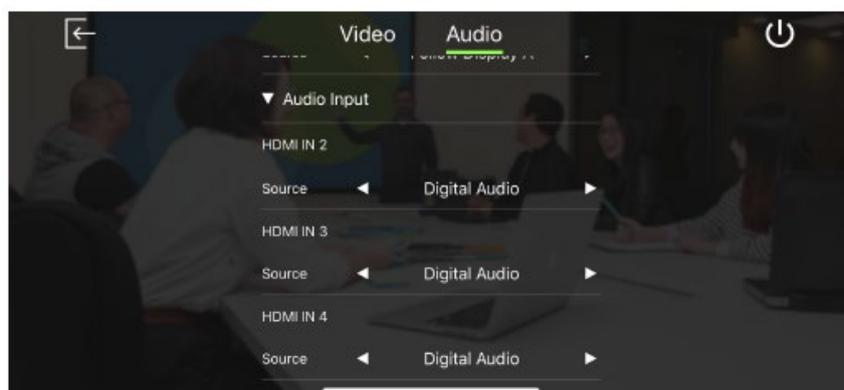


システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Output (オーディオ出力)	Overall (全体)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 に接続されたスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display A (ディスプレイ A)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ A のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 に接続されたディスプレイ A のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display B (ディスプレイ B)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ B のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 に接続されたディスプレイ B のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

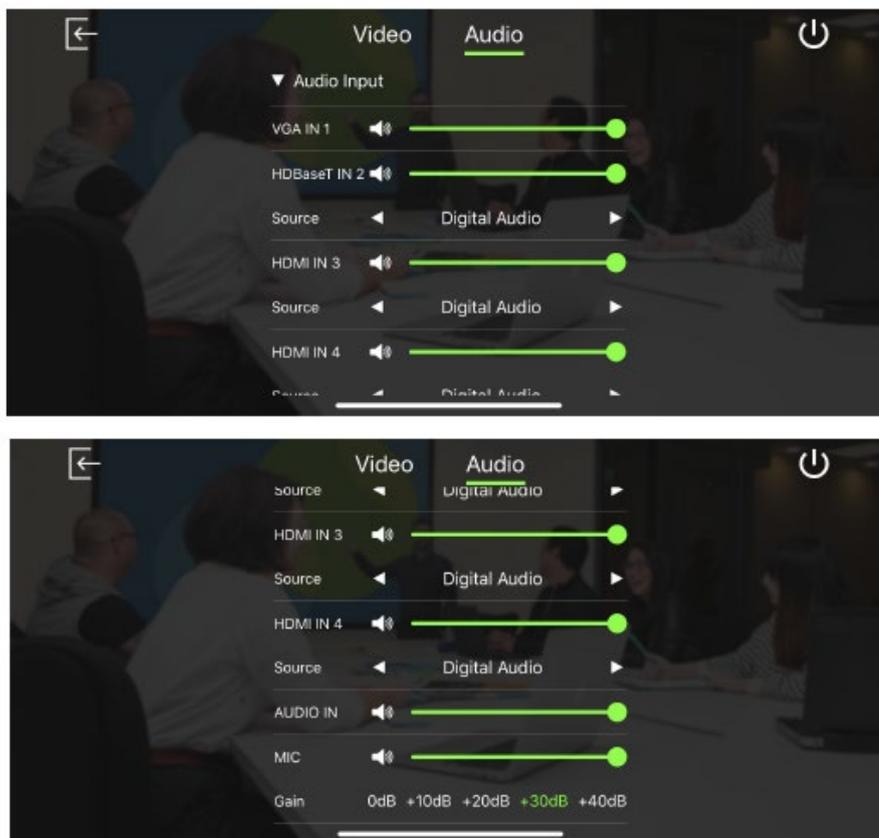
(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Output (オーディオ出力) (続き)	AUDIO OUT (オーディオ出力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Follow Display A (ディスプレイ A に従う) ◆ Follow Display B (ディスプレイ B に従う) ◆ Audio In (オーディオ入力) 	VP1420/VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーに対してオーディオソースを設定します。

VP1420 のオーディオ入力設定



VP1421 のオーディオ入力設定



システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ入力)	VGA IN 1 (VGA 入力 1)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された VGA ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	HDBaseT IN 2 (HDBaseT 入力 2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDBaseT ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ 入力) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDBaseT ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	HDMI IN 2 (HDMI 入力 2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1420 のみ】VP1420 に接続された HDMI 2 ソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	<p>【VP1420 のみ】VP1420 に接続された HDMI 2 ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ 入力) (続き)	HDMI IN 3 (HDMI 入力 3)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 3 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	【VP1420/VP1421 共通】 VP1420/VP1421 に接続された HDMI 3 ソースに対してオーディオソースを設定します。 ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「 Digital Audio 」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「 Embedded Audio In 」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
	HDMI IN 4 (HDMI 入力 4)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 4 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

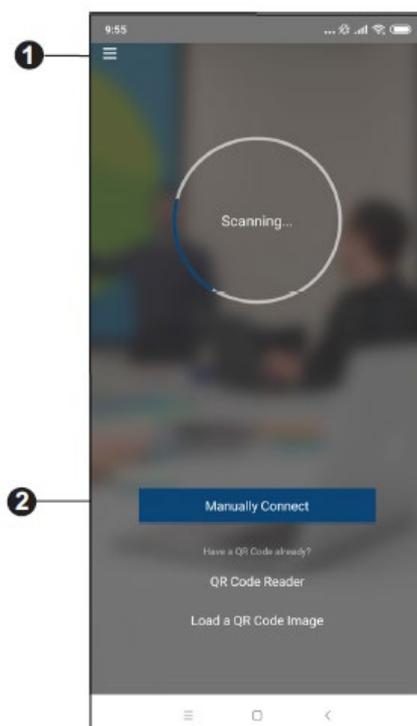
(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ 入力) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	<p>【VP1420/VP1421 共通】</p> <p>VP1420/VP1421 に接続された HDMI 4 ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	AUDIO IN (オーディ オ入力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のオーディオ入力ポートに接続された個別のオーディオソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	MIC (マイク)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のマイク入力ポートに接続されたマイクのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Gain (ゲイン)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ +0dB ◆ +10dB ◆ +20dB ◆ +30dB 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 に接続されたマイクのゲインを設定します。</p>

Android 版

メイン画面

ATEN ビデオ制御アプリにログインすると、デフォルトでスキャン画面に遷移します。各タブの機能概要については、下表を参照してください。



No.	名称	説明
1	情報 	アプリのバージョン情報、プライバシーポリシー、お問い合わせ先を表示します。
2	Manually Connect (手動接続)	IP アドレスとパスワードを入力し、 エントリールームに手動で接続します。
3	QR コードリーダー	QR コードを読み取り、会議に参加します。
4	QR コードイメージを 読み込む	保存済みの QR コード画像を選択し、会議に参加します。

情報

次の画面は、情報画面の外観です。ここでは、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。「**Contact us**」(お問い合わせ)をタップすると、ATEN 公式ウェブサイトへ接続します。



コントロールパネルへのログイン

VP1420 / VP1421 は、ATEN ビデオプレゼン制御アプリからもログインができます。
ログイン方法は次の 2 種類です。

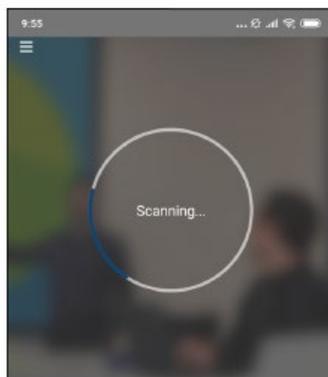
- ◆ 自動スキャンで接続する方法
- ◆ IP アドレスとパスワードを入力して接続する方法

各方法の手順は以下のとおりです。

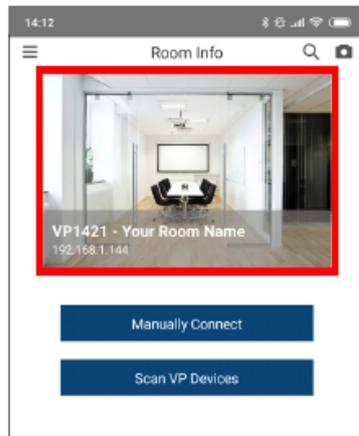
コントロールパネルに自動ログインするには

自動スキャンを実行してコントロールパネルに自動ログインするには、次の手順で操作してください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、スキャン処理が完了するまでお待ちください。

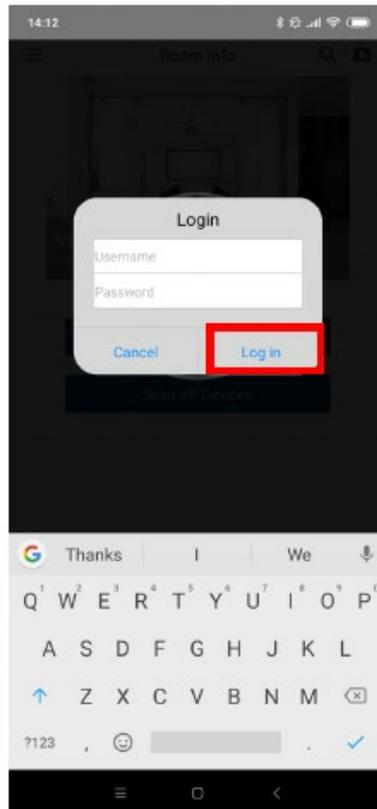


2. スキャンが完了すると、「Room List」(部屋一覧)画面が表示されます。部屋をタップしてコントロールパネルにログインしてください。

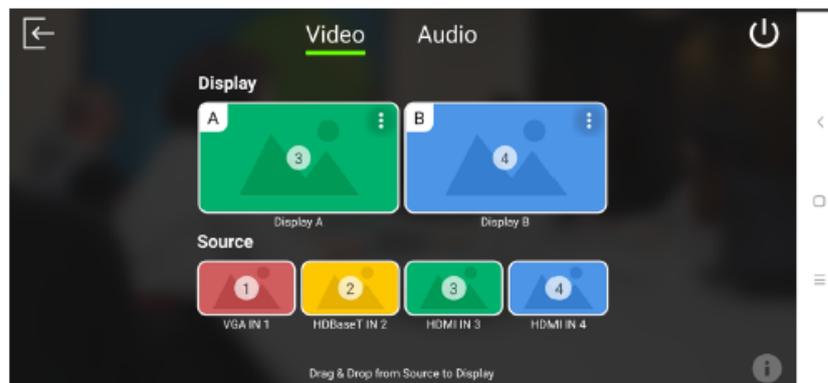


3. ユーザー名とパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティー上の理由から、VP1420/VP1421 のブラウザから初めてログインすると、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



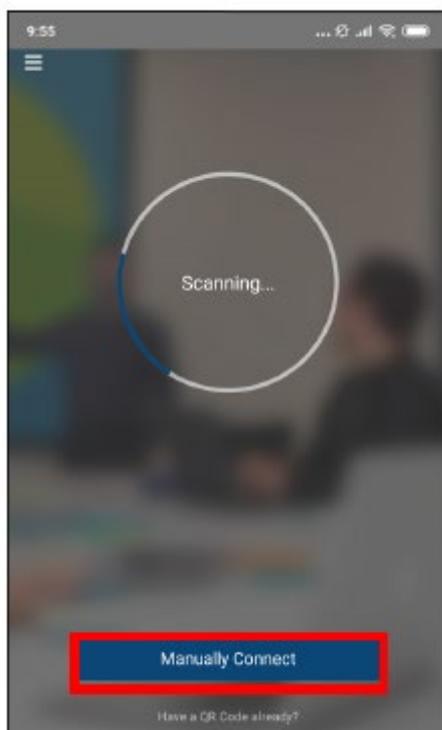
4. これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。



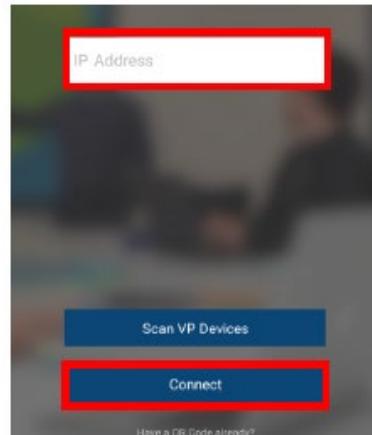
コントロールパネルに手動接続でログインするには

手動で接続してコントロールパネルにログインするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。

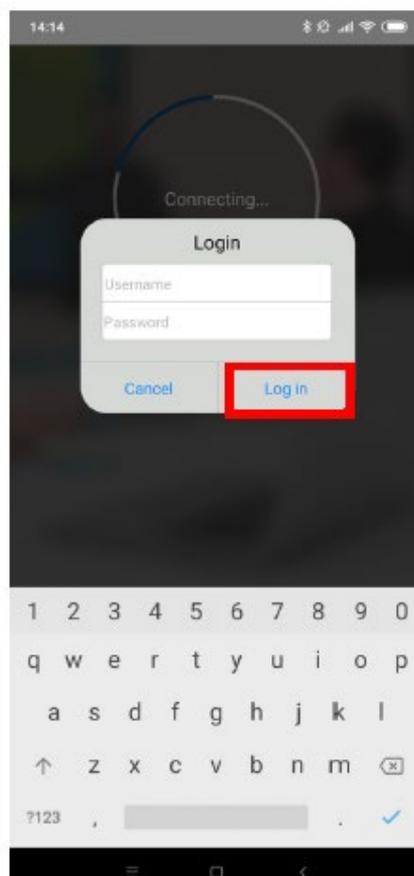


2. VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「Connect」(接続)をタップしてください。



3. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

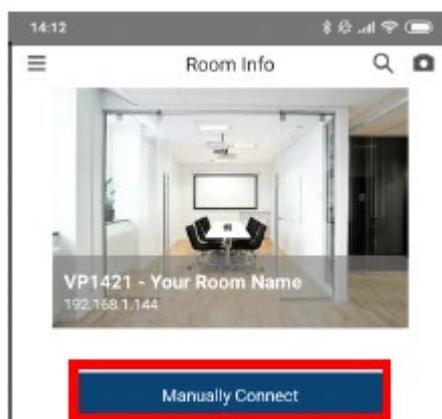
注意: セキュリティー上の理由から、VP1420/VP1421 のウェブコンソールから初めてログインすると、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



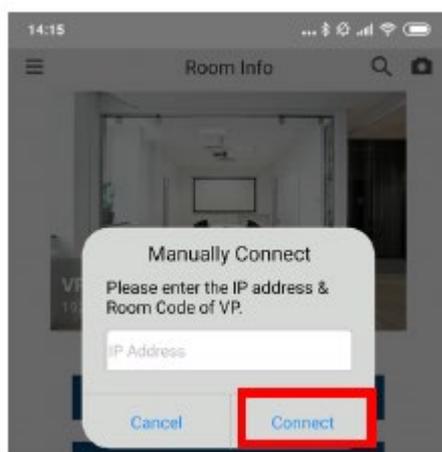
- これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。

または

- 「Room List」(部屋一覧)画面から「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。

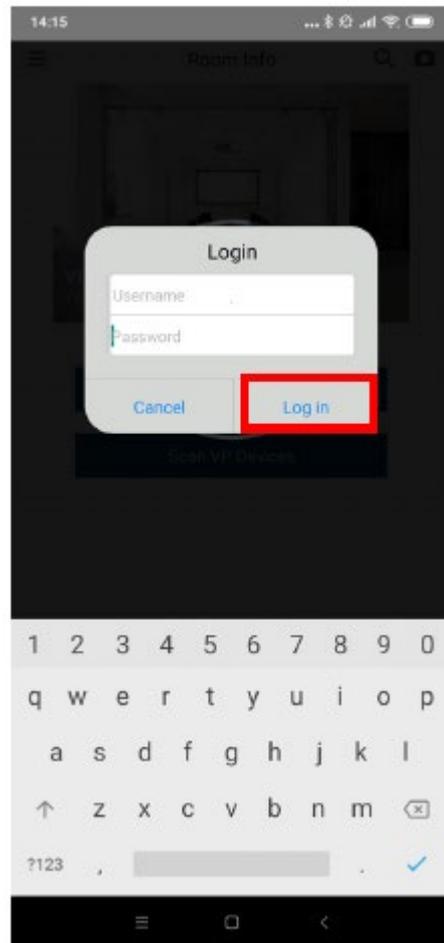


- VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「**Connect**」(接続)をタップしてください。



- ユーザーネームとパスワードを入力したら、「**Login**」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティー上の理由から、VP1420/VP1421 のブラウザから初めてログインすると、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。

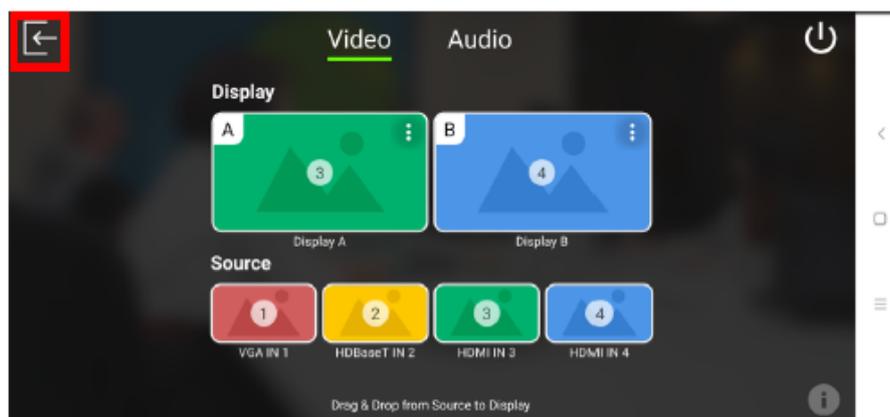


- これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。

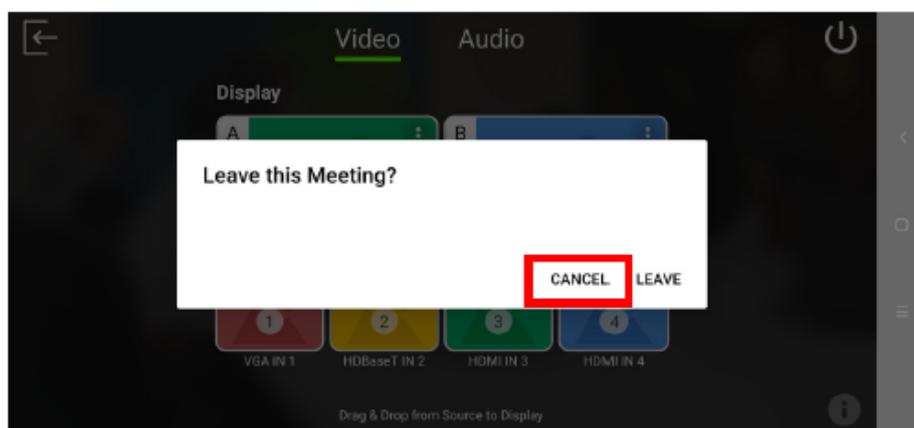
会議からの退室

コントロールパネルから退室するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



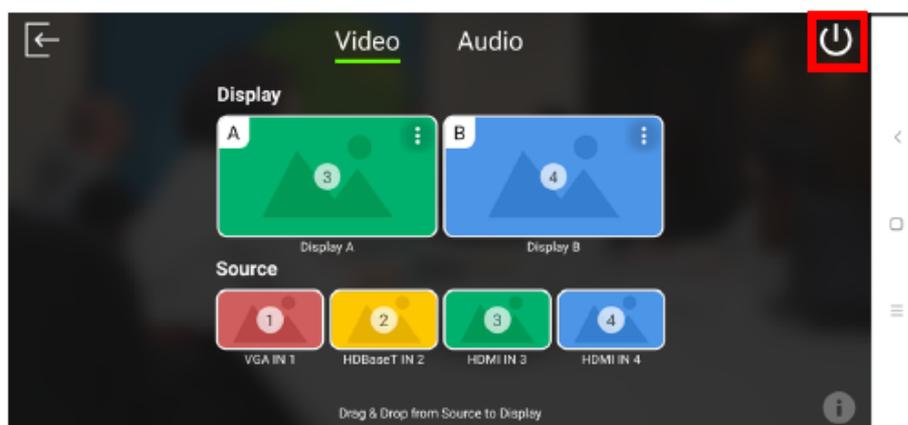
2. 警告メッセージが表示されたら、「Leave」(退室)をタップしてください。



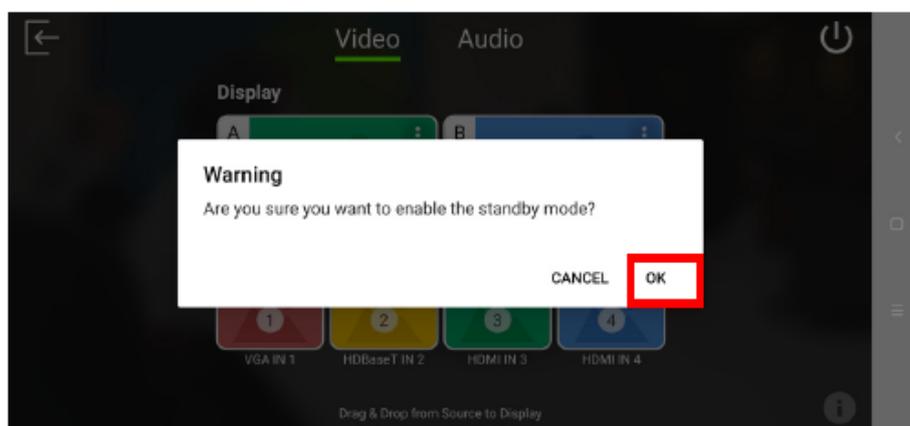
スタンバイモードの有効化

スタンバイモードを有効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



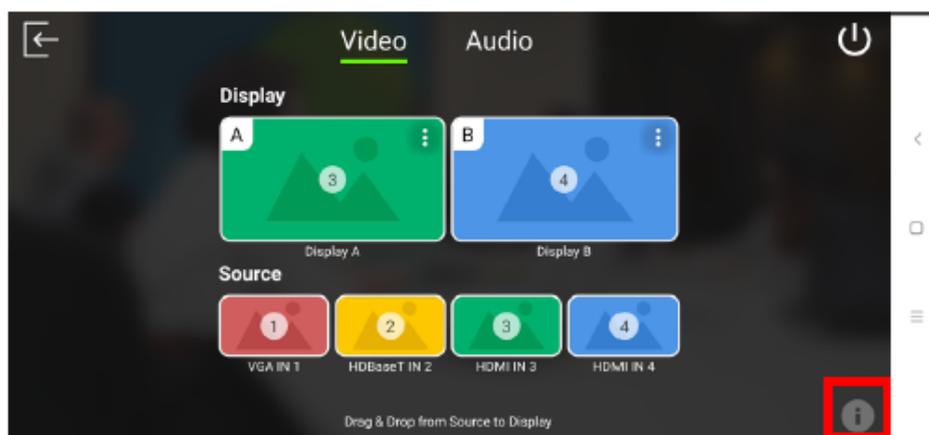
2. 警告メッセージが表示されたら、「OK」をタップしてください。



ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従って操作を行ってください。

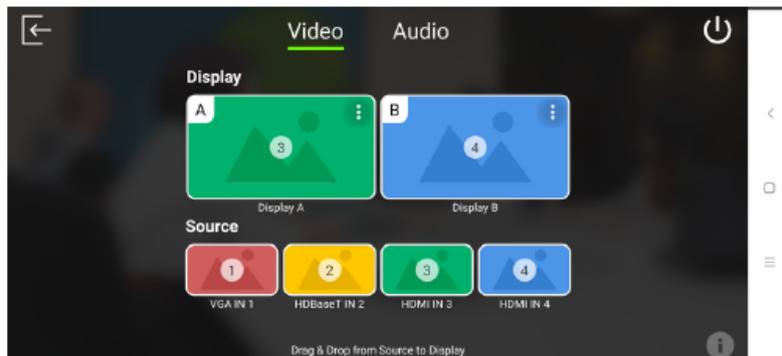
1. メイン画面で、を押してください。



2. 下図のような画面が表示されます。



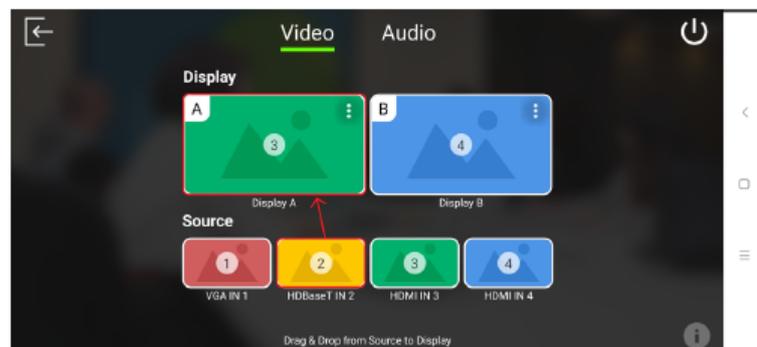
ビデオパネル



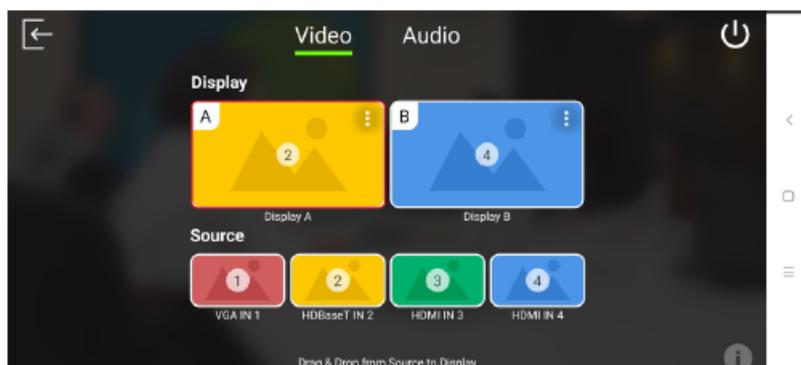
ディスプレイに対するソースの切り替え

ディスプレイに対してソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ソース2をディスプレイAに切り替えるには、ディスプレイの画面からソースをディスプレイAにドラッグしてください。



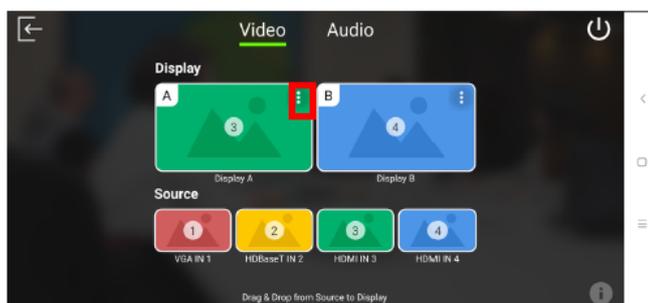
2. この操作で、ディスプレイAがソース2のコンテンツを表示するようになります。



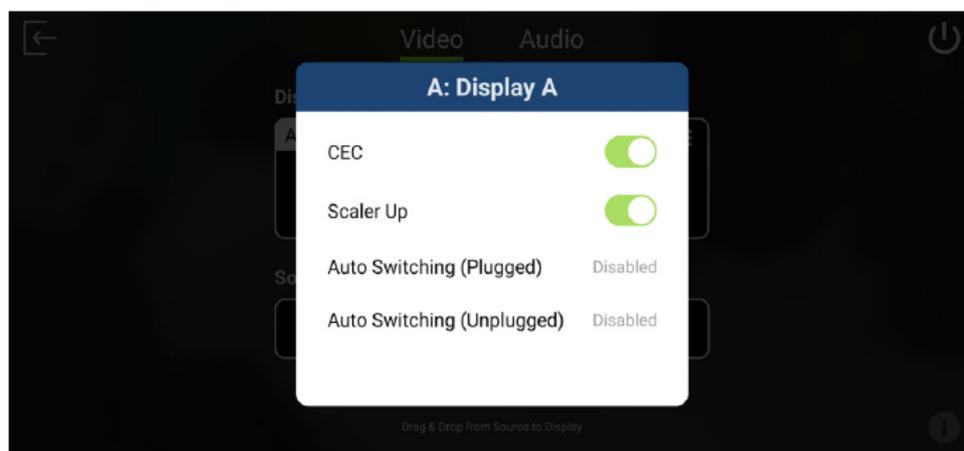
ディスプレイ A の設定

ディスプレイ A に対する表示設定は、次の手順で行ってください。

1. ディスプレイ A の右上にある  マークをタップしてください。



2. 下図のような画面が表示されます。



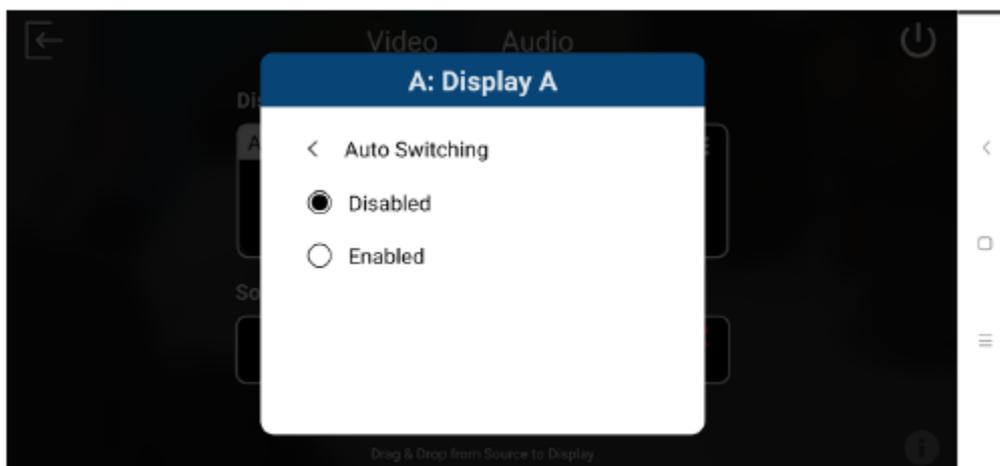
ツール	説明
CEC	CEC 機能の有効／無効を切り替えます。 CEC は、HDMI 接続機器を 1 台のリモコンで操作できる制御機能です。初期設定は「有効」です。
Scaler Up (アップスケーリング)	この項目をタップすると、アップスケーリング機能の有効／無効を切り替えます。有効にすると、1080p の映像を 4K へ自動変換します。 対応解像度は、p.116「製品仕様」を参照してください。

(表は次のページに続きます)

ツール	説明
Auto Switching (Plugged) (自動切替:接続時)	新しいソースを接続した際に、自動で切り替えるかを設定します。 ◆ Disable(無効) :自動切替を行いません。 ◆ Next(次へ) :新しく接続されたソースへ自動で切り替えます。
Auto Switching (Unplugged) (自動切替:取り外し時)	現在表示中のソースを取り外した際の動作を設定します。 ◆ Disable(無効) :自動切替を行いません。 ◆ Next(次へ) :次に利用可能なソースへ切り替えます。 ◆ Last(最後) :直前に使用していたソースへ切り替えます。 例: ポート1→2→3→4の順に接続されている場合、 ポート3を取り外すと、ポート2へ自動で切り替わります。

自動切替

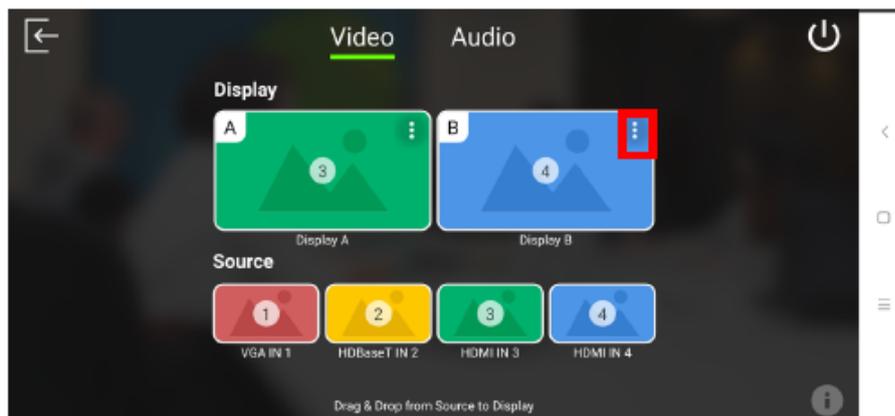
新規に検出されたソースに自動で切り替える機能を有効または無効にするには、「Auto Switching」(自動切替)をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



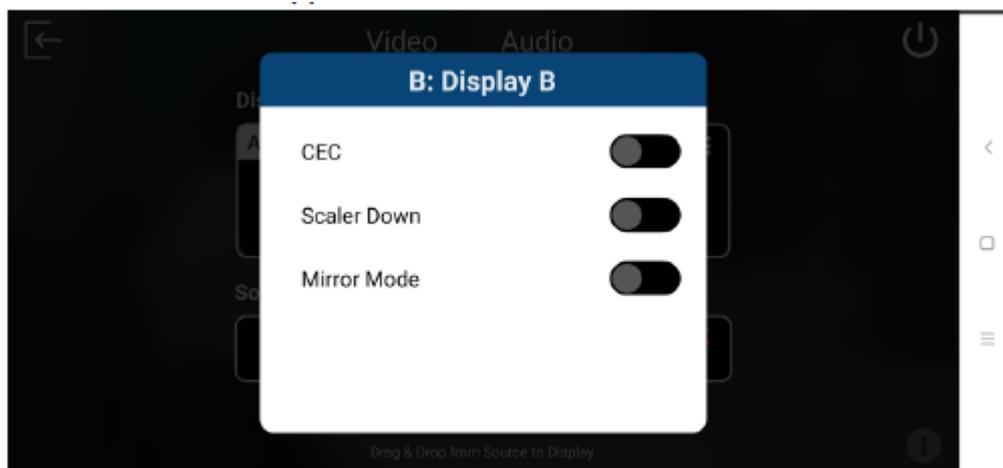
ディスプレイ B の設定

ディスプレイ B に対する表示設定は、次の手順で行ってください。

1. ディスプレイ B の右上にある  マークをタップしてください。

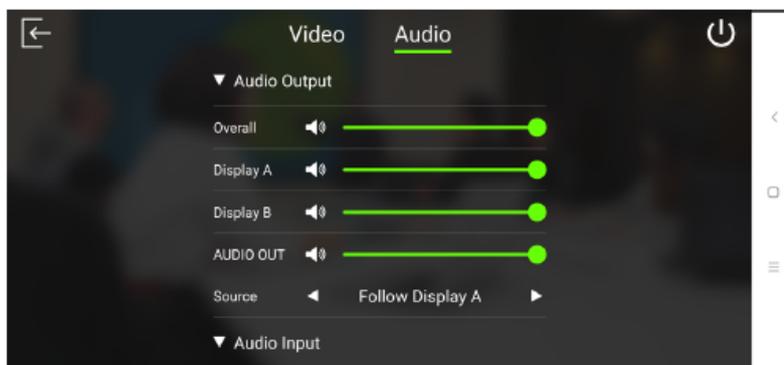


2. 下図のような画面が表示されます。

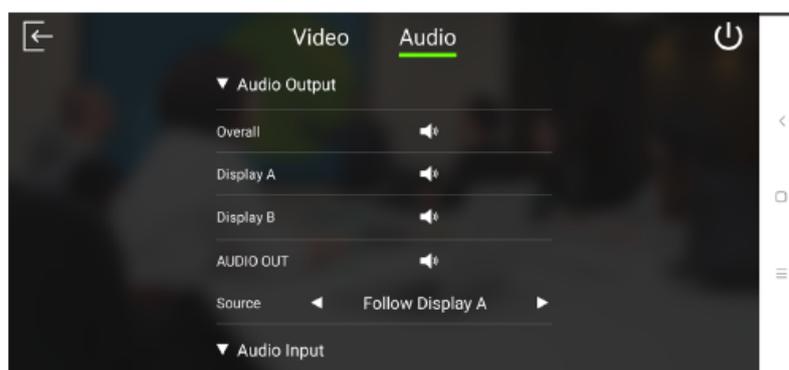


ツール	説明
CEC	CEC 機能の有効／無効を切り替えます。 CEC は、HDMI 接続機器を 1 台のリモコンで操作できる制御機能です。初期設定は「有効」です。
Scaler Down (ダウンスケーリング)	ダウンスケーリング機能の有効／無効を切り替えます。 有効にすると、4K 映像を 1080p へ自動変換します。サポートされるダウンスケーリング解像度については、p.116「製品仕様」を参照してください。
Mirror Mode (ミラーモード)	ミラーモードの有効／無効を切り替えます。 有効にすると、ディスプレイ B にディスプレイ A と同じ映像を表示します。

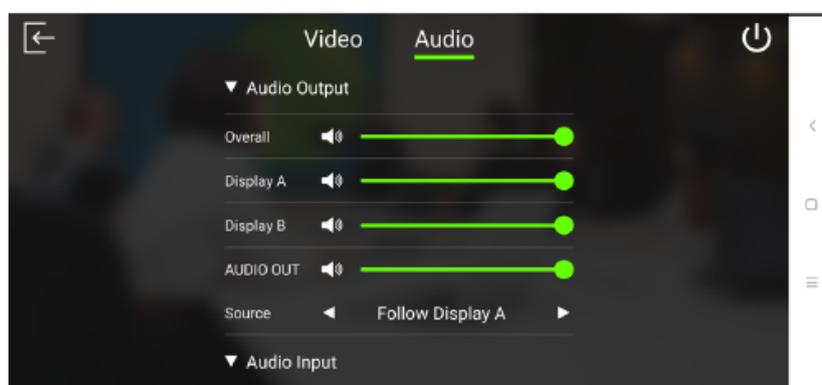
オーディオパネル



VP1420 のオーディオ出力設定



VP1421 のオーディオ出力設定

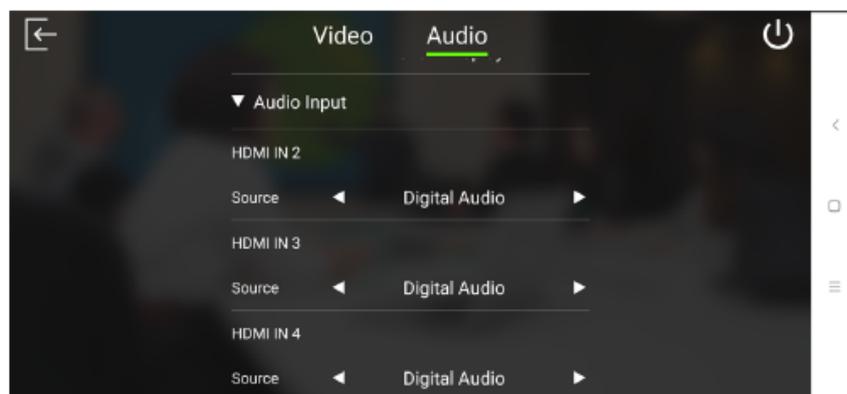


システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Output (オーディオ出力)	Overall (全体)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 に接続されたスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display A (ディスプレイ A)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ A のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 に接続されたディスプレイ A のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display B (ディスプレイ B)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ B のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 に接続されたディスプレイ B のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

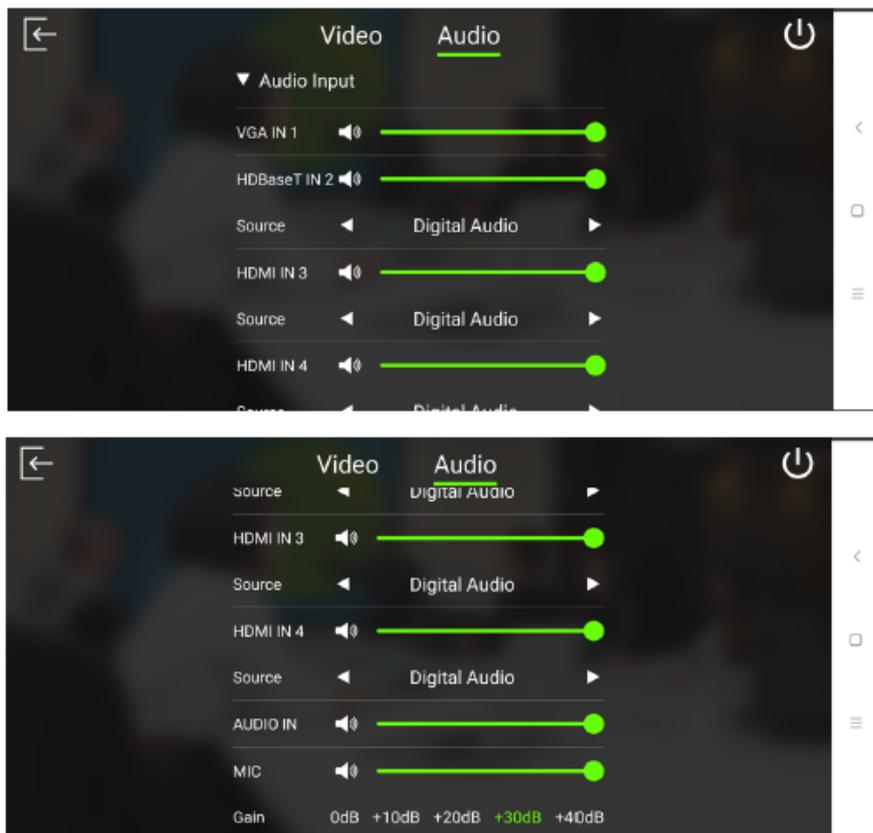
(表は次のページに続きます)

システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Output (オーディオ出力) (続き)	AUDIO OUT (オーディオ出力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Follow Display A (ディスプレイ A に従う) ◆ Follow Display B (ディスプレイ B に従う) ◆ Audio In (オーディオ入力) 	VP1420/VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーに対してオーディオソースを設定します。

VP1420 のオーディオ入力設定



VP1421 のオーディオ入力設定



システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ入力)	VGA IN 1 (VGA 入力 1)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された VGA ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	HDBaseT IN 2 (HDBaseT 入力 2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDBaseT ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ 入力) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDBaseT ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	HDMI IN 2 (HDMI 入力 2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1420 のみ】VP1420 に接続された HDMI 2 ソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	<p>【VP1420 のみ】VP1420 に接続された HDMI 2 ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ 入力) (続き)	HDMI IN 3 (HDMI 入力 3)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 3 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	【VP1420/VP1421 共通】 VP1420/VP1421 に接続された HDMI 3 ソースに対してオーディオソースを設定します。 ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「 Digital Audio 」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「 Embedded Audio In 」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
	HDMI IN 4 (HDMI 入力 4)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 4 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ 入力) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	<p>【VP1420/VP1421 共通】</p> <p>VP1420/VP1421 に接続された HDMI 4 ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	AUDIO IN (オーディ オ入力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のオーディオ入力ポートに接続された個別のオーディオソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	MIC (マイク)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のマイク入力ポートに接続されたマイクのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Gain (ゲイン)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ +0dB ◆ +10dB ◆ +20dB ◆ +30dB 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 に接続されたマイクのゲインを設定します。</p>

付録

製品仕様

VP1420

機能	VP1420
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×3 (Black) D-sub15 ピン メス×1 (Blue)
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) : 3m 4K@30Hz : 10m 1080p@60Hz : 15m VGA - 1080p@60Hz : 15m
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×2 (Black)
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) : 3m 4K@30Hz : 10m 1080p@60Hz : 15m
ビデオ	
最大解像度	HDMI: 最大 4096×2160 / 3840×2160@60Hz (4:4:4) VGA: 最大 1080p@60Hz

(表は次のページに続きます)

機能	VP1420
アップスケーリング & ダウンスケーリング 対応解像度	<p>アップスケーリング対応解像度:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 1080p 60Hz → 4K 60Hz ◆ 1080p 50Hz → 4K 50Hz ◆ 1080p 24Hz → 4K 24Hz ◆ 1080p 25Hz → 4K 25Hz ◆ 1080p 30Hz → 4K 30Hz <p>ダウンスケーリング対応解像度:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 4K 60Hz → 1080p 60Hz ◆ 4K 50Hz → 1080p 50Hz ◆ 4K 24Hz → 1080p 24Hz ◆ 4K 25Hz → 1080p 25Hz ◆ 4K 30Hz → 1080p 30Hz <p>注意: 解像度 4096×2160 のビデオを縮小すると、出力は左右とも幅 128 ピクセルずつ切り取られます。</p>
規格準拠	HDMI (3D、Deep Color、4K)、4K HDR HDCP 2.2 準拠、CEC
オーディオ	
入力	ステレオオーディオ (VGA) : ステレオミニジャック メス×1 (Green) ステレオオーディオ (HDMI) : ステレオミニジャック メス×1 (Green)
出力	ライン出力 (アンバランス) : 3 極着脱式ターミナルブロック×1
制御	
RS-232	3 極着脱式ターミナルブロック×1
IR	ステレオミニジャック メス×1 (Black)

(表は次のページに続きます)

機能	VP1420
イーサネット	RJ-45 メス×1 (Silver)
接点	5 極着脱式ターミナルブロック×1
LED 出力	5 極着脱式ターミナルブロック×1 LED 出力電源:+5 VDC、0.2A
スイッチ	
電源	プッシュボタン×1 (LED:Green / Orange)
ビデオ入力ポート選択	プッシュボタン×4 (LED:Green)
ビデオ出力ポート選択	プッシュボタン×2 (LED:Orange)
選択	ミュート:プッシュボタン×1 モード/解除:プッシュボタン×1
EDID 設定	EDID モード:デフォルト / ポート 1 / リミックス
コネクタ	
電源	DC ジャック×1 (Black)
消費電力	DC5V:7.21W:38BTU/h 注意: ● ワット単位の測定値は、外部負荷がない場合の装置の標準的な消費電力を示します。 ● BTU/h 単位での測定値は、デバイスに完全に負荷がかかった状態の消費電力を示します。
動作環境	
動作温度	0~40℃
保管温度	-20~60℃
湿度	0~80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	1.09 kg
サイズ(W×D×H)	200×160.5×44 mm

VP1421

機能	VP1421
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×2 (Black) D-sub15 ピン メス×1 (Blue) HDBaseT (RJ-45) メス×1 (Silver) ※PoH 選択可能
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) :3m 4K@30Hz:10m 1080p@60Hz:15m VGA - 1080p@60Hz:15m HDBaseT - 4K@30Hz:35m (Cat 5e/6) / 40m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6) 1080p@60Hz:60m (Cat 5e/6) / 70m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6)
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×1 (Black) HDBaseT (RJ-45) メス×1 (Silver) ※PoH 選択可能
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) :3m 4K@30Hz:10m 1080p@60Hz:15m HDBaseT - 4K@30Hz:35m (Cat 5e/6) / 40m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6) 1080p@60Hz:60m (Cat 5e/6) / 70m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6)
ビデオ	
最大解像度	HDMI:最大 4096×2160 / 3840×2160@60Hz (4:4:4) VGA:最大 1080p@60Hz:15m HDBaseT:最大 4096×2160 / 3840×2160@60Hz (4:2:0) 最大 4096×2160 / 3840×2160@30Hz (4:4:4)

(表は次のページに続きます)

機能	VP1421
アップスケーリング & ダウンスケーリング 対応解像度	<p>アップスケーリング対応解像度:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 1080p 60Hz → 4K 60Hz ◆ 1080p 50Hz → 4K 50Hz ◆ 1080p 24Hz → 4K 24Hz ◆ 1080p 25Hz → 4K 25Hz ◆ 1080p 30Hz → 4K 30Hz <p>ダウンスケーリング対応解像度:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 4K 60Hz → 1080p 60Hz ◆ 4K 50Hz → 1080p 50Hz ◆ 4K 24Hz → 1080p 24Hz ◆ 4K 25Hz → 1080p 25Hz ◆ 4K 30Hz → 1080p 30Hz <p>注意: 解像度 4096×2160 のビデオを縮小すると、出力は左右とも幅 128 ピクセルずつ切り取られます。</p>
規格準拠	HDMI (3D、Deep Color、4K)、4K HDR HDCP 2.2 準拠、CEC

(表は次のページに続きます)

機能	VP1421
オーディオ	
入力	ステレオオーディオ (HDMI/HDBT) :ステレオミニジャック メス×1 (Green) ステレオオーディオ (VGA) :ステレオミニジャック メス×1 (Green) マイク:6.3mm ジャックコネクタ (ファンタム電源選択可能) ×1
出力	ライン出力 (アンバランス) :3 極着脱式ターミナルブロック×1 光オーディオ:Toslink×1 (Black)
制御	
RS-232	3 極着脱式ターミナルブロック×1
IR	ステレオミニジャック メス×1 (Black)
イーサネット	RJ-45 メス×1 (Silver)
接点	5 極着脱式ターミナルブロック×1
LED 出力	5 極着脱式ターミナルブロック×1 LED 出力電源:+5 VDC、0.2A
IR チャンネル	HDBaseT 入力:ステレオミニジャック メス×1 (Black) HDBaseT 出力:ステレオミニジャック メス×1 (Black)
RS-232 チャンネル	HDBaseT 入力:3 極着脱式ターミナルブロック×1 HDBaseT 出力:3 極着脱式ターミナルブロック×1
スイッチ	
電源	プッシュボタン×1 (LED:Green / Orange) スライドスイッチ×1 (+48V ファンタム電源) スライドスイッチ×1 (PoH)
ビデオ入力ポート選択	プッシュボタン×4 (LED:Green)
ビデオ出力ポート選択	プッシュボタン×2 (LED:Orange)
選択	マイク:調整ツマミ×1 ボリューム:調整ツマミ×1 モード/解除:プッシュボタン×1
EDID 設定	EDID モード:デフォルト / ポート1 / リミックス

(表は次のページに続きます)

機能	VP1421
コネクタ	
電源	DC ジャック×1 (Black)
制御	<p><RS-232></p> <p>3 極着脱式ターミナルブロック×1</p> <p><IR></p> <p>ステレオミニジャック メス×1 (Black)</p> <p><イーサネット></p> <p>RJ-45 メス×1 (Silver)</p> <p><コンタクト入力></p> <p>5 極着脱式ターミナルブロック×1</p> <p><LED 出力></p> <p>5 極着脱式ターミナルブロック×1</p> <p>LED 出力電源:+5 VDC、0.2A</p> <p><IR チャンネル></p> <p>HDBaseT 入力:ステレオミニジャック メス×1 (Black)</p> <p>HDBaseT 出力:ステレオミニジャック メス×1 (Black)</p> <p><RS-232 チャンネル></p> <p>HDBaseT 入力:3 極着脱式ターミナルブロック×1</p> <p>HDBaseT 出力:3 極着脱式ターミナルブロック×1</p>
消費電力	<p>DC12V:14.93W:110BTU/h</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワット単位の測定値は、外部負荷がない場合の装置の標準的な消費電力を示します。 ● BTU/h 単位での測定値は、デバイスに完全に負荷がかかった状態の消費電力を示します。
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと

(表は次のページに続きます)

機能	VP1421
ケース	
ケース材料	メタル
重量	1.16 kg
サイズ(W×D×H)	200×170.1×44 mm